

**第6次川島町総合振興計画のための
町民アンケート調査結果**

2023年8月

川島町

目 次

I. 調査概要.....	1
II. 調査結果.....	2
1. 調査対象者.....	2
2. アンケート結果.....	6
III. まとめ.....	32
1. 「まもる」.....	33
2. 「つなぐ」.....	33
3. 「つくる」.....	33
4. 「そだてる」.....	34

I. 調査概要

- ① 調査実施期間：2023年6月9日～2023年6月27日
- ② 調査方法：郵送にて配布・回収またはWeb上での回答
- ③ 調査対象：18歳以上の町民から無作為に2,000人を抽出
- ④ 回収状況

有効回収数：397票

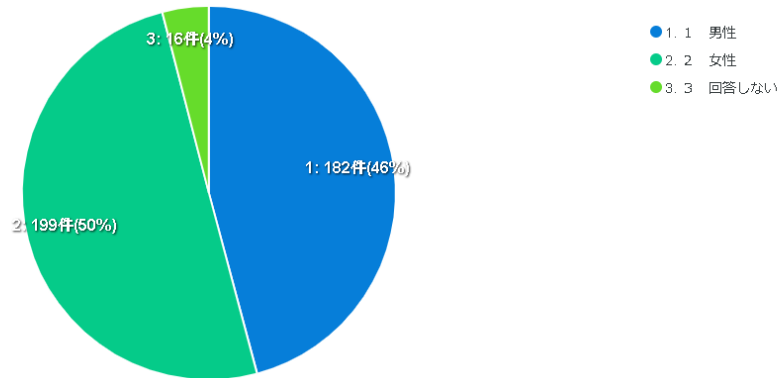
（前回：550票）

有効回収率：19.9%（前回：27.5%）

II. 調査結果

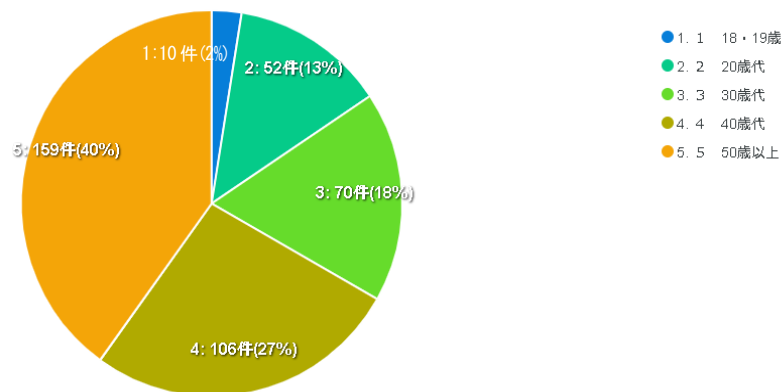
1. 調査対象者

(1) 性別

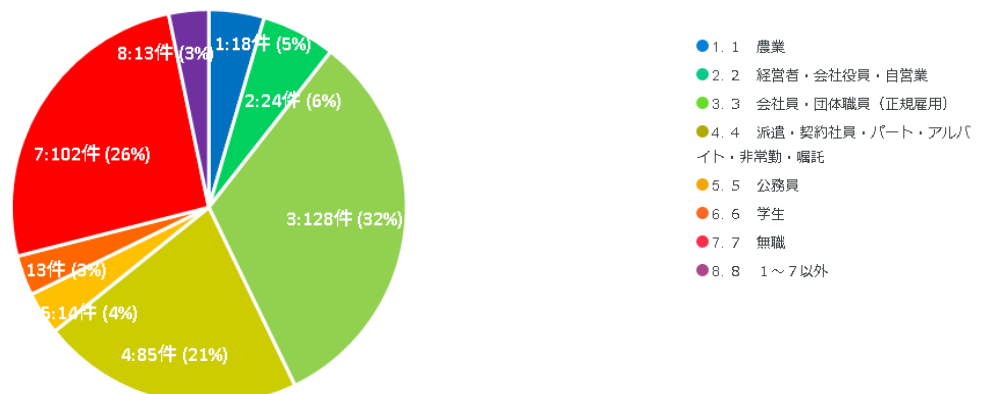


(2) 年齢 (2023年4月1日現在)

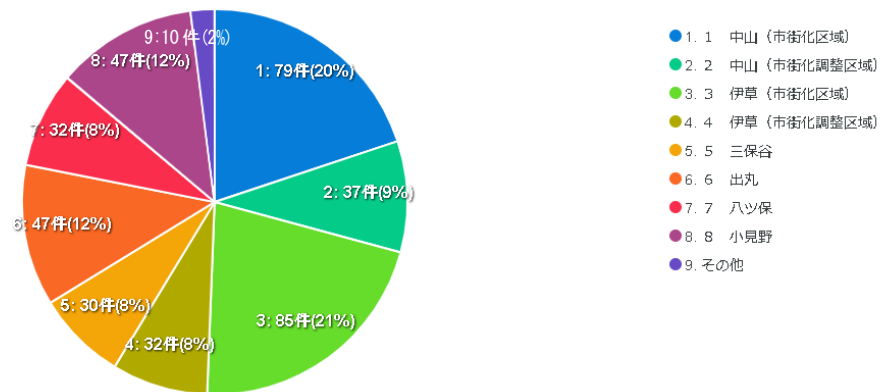
年齢別では、「50歳以上」の割合が40.0%と最も大きい。



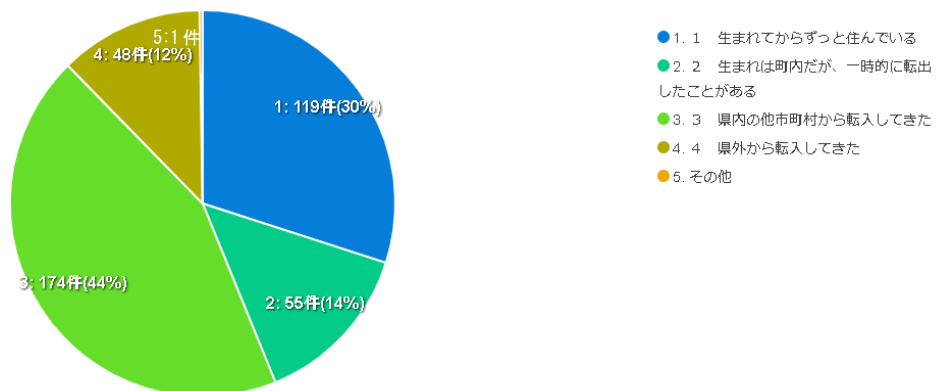
(3) 職業



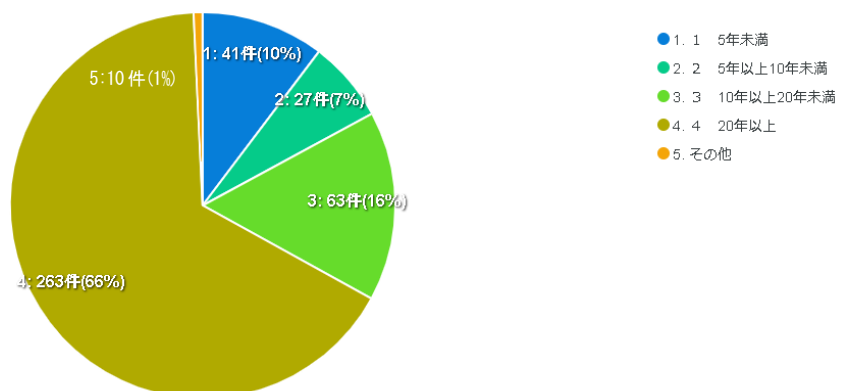
(4) 居住地区



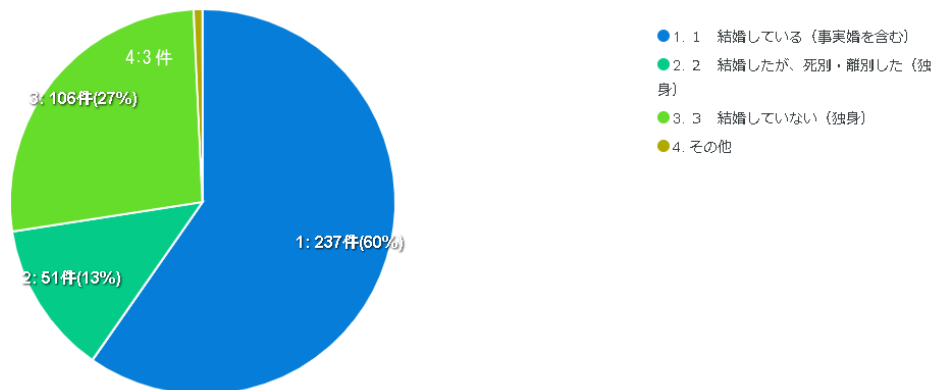
(5) 居住歴



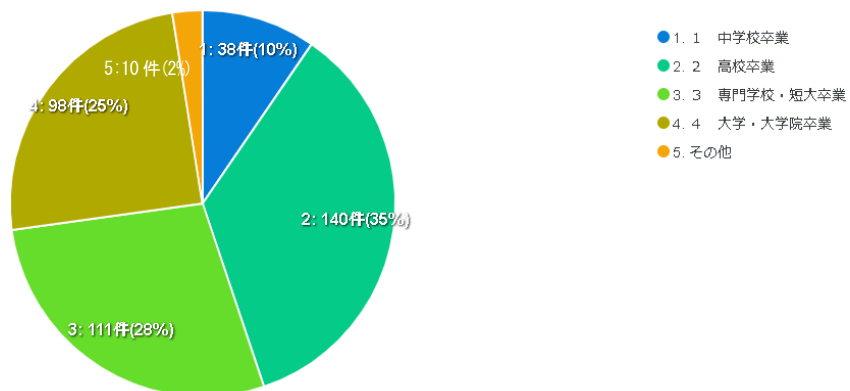
(6) 居住年数 (合計)



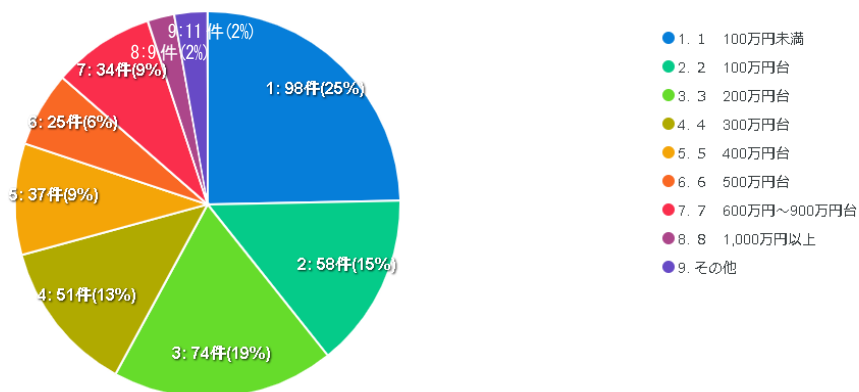
(7) 結婚



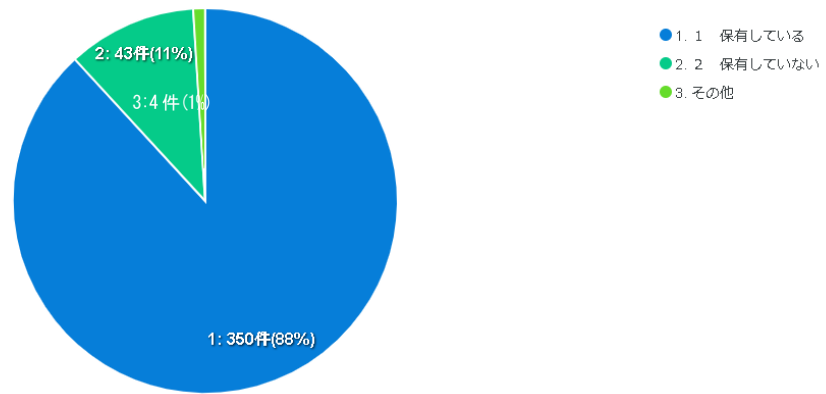
(8) 最終学歴



(9) 昨年 (令和4年) の年収



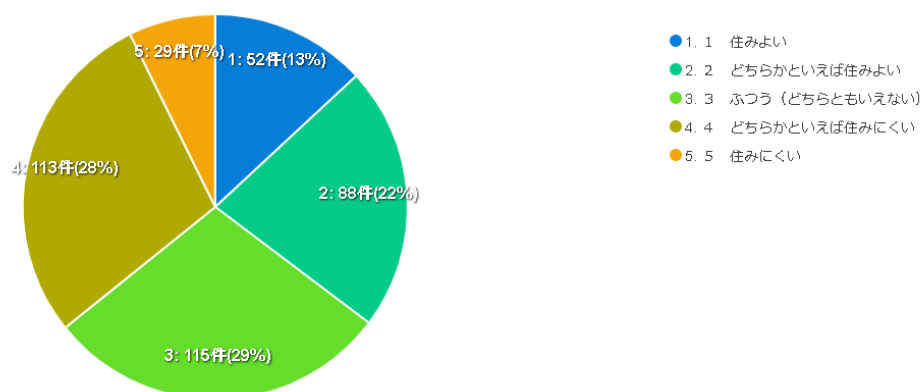
(10) スマートフォンの保有率



2. アンケート結果

- まち全体の印象については、「ふつう（どちらともいえない）」の割合が29%と最も大きく、次いで「どちらかといえば住みにくい」が28%、「どちらかといえば住みよい」が22%と続く。
- 川島町が定めた指標「住みよさ町民満足度」※は、61.0%となる。
(2022年：63.4%)

問2 まち全体の印象についておたずねします。あなたにとって川島町は住みよい町ですか。(1つにチェック)



	2023年		2022年	
	n	%	n	%
全体	397		550	
1 住みよい	52	13.1	71	12.9
2 どちらかといえば住みよい	88	22.2	159	28.9
3 ふつう (どちらともいえない)	115	29.0	145	26.4
4 どちらかといえば住みにくい	113	28.5	136	24.7
5 住みにくい	29	7.3	36	6.5
無回答			3	0.5

※「住みよさ町民満足度」算出式

住みよい=5, どちらかといえば住みよい=4, ふつう(どちらともいえない)=3,
どちらかといえば住みにくい=2, 住みにくい=1

住みよい	$52 \times 5 =$	260	$1,212 \div 397(\text{回答者数}) = 3.05$
どちらかといえば住みよい	$88 \times 4 =$	352	$3.05 \div 5 \times 100 = 61.0\%$
ふつう (どちらともいえない)	$115 \times 3 =$	345	
どちらかといえば住みにくい	$113 \times 2 =$	226	
住みにくい	$29 \times 1 =$	29	
		1,212	

- 年齢別では、18・19歳と20歳代の若者層と40代の満足度が全体（61.0%）より低い。

【年齢別】

	住みよい	どちらかとい えば住みよい	ふつう（どち らともいえな い）	どちらかとい えば住みにく い	住みにくい	総計	満足度（%）
全体	52 13.10%	88 22.17%	115 28.97%	113 28.46%	29 7.30%	397 100.00%	61.0
1 18・19歳	0.00%	3 30.00%	4 40.00%	1 10.00%	2 20.00%	10 100.00%	56.0
2 20歳代	3 5.77%	10 19.23%	13 25.00%	15 28.85%	11 21.15%	52 100.00%	51.9
3 30歳代	13 18.57%	21 30.00%	14 20.00%	19 27.14%	3 4.29%	70 100.00%	66.2
4 40歳代	12 11.32%	20 18.87%	29 27.36%	36 33.96%	9 8.49%	106 100.00%	58.1
5 50歳以上	24 15.09%	34 21.38%	55 34.59%	42 26.42%	4 2.52%	159 100.00%	64.0

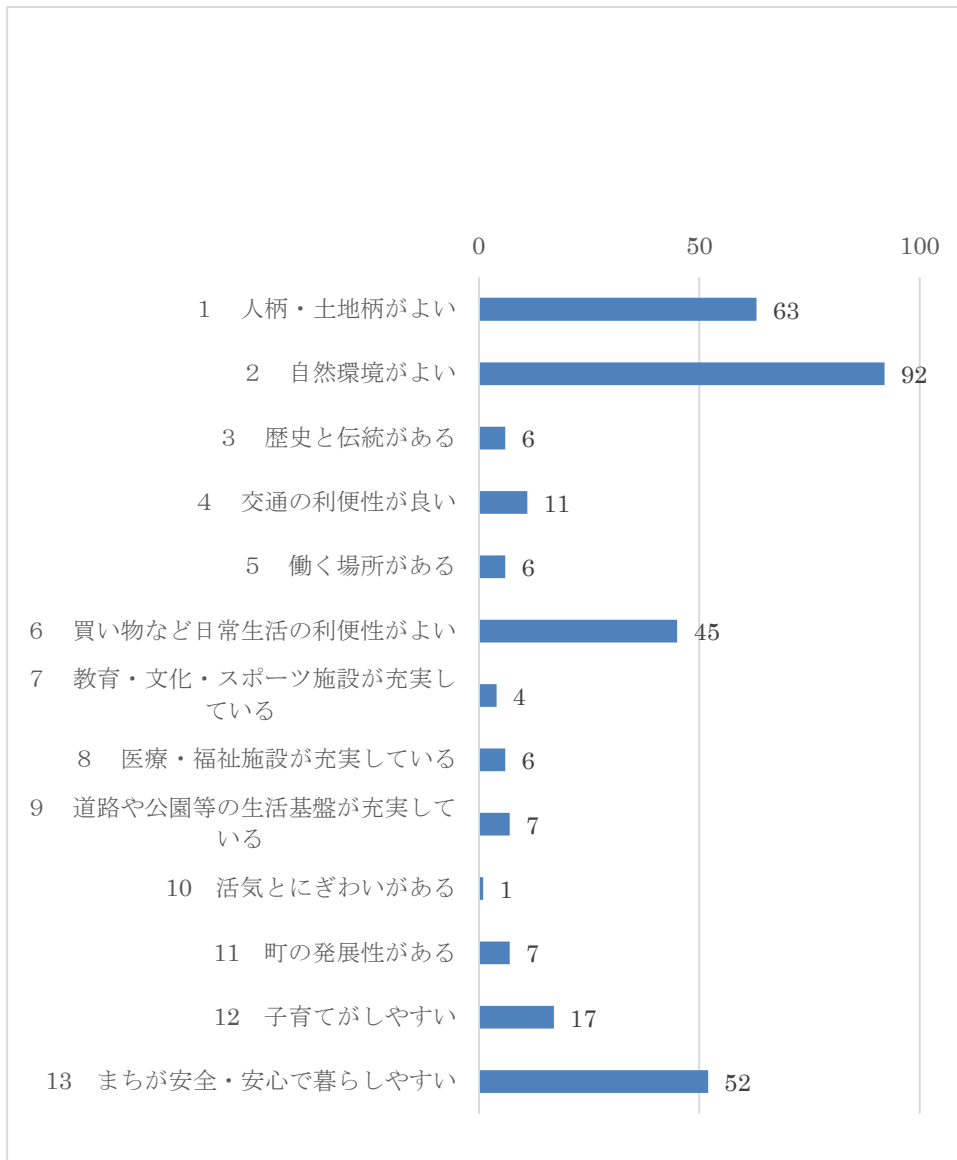
- 居住地区別では、三保谷地区の満足度が51.3%と最も低くなっており、一方で伊草地区は市街化区域、市街化調整区域とも高くなっている。

【居住地区別】

	住みよい	どちらかとい えば住みよい	ふつう（どち らともいえな い）	どちらかとい えば住みにく い	住みにくい	総計	満足度（%）
全体	52 13.10%	88 22.17%	115 28.97%	113 28.46%	29 7.30%	397 100.00%	61.0
1 中山（市街化区域）	8 10.13%	21 26.58%	18 22.78%	26 32.91%	6 7.59%	79 100.00%	59.7
2 中山（市街化調整区域）	7 18.92%	4 10.81%	15 40.54%	4 10.81%	7 18.92%	37 100.00%	60.0
3 伊草（市街化区域）	15 17.65%	23 27.06%	24 28.24%	19 22.35%	4 4.71%	85 100.00%	66.1
4 伊草（市街化調整区域）	6 18.75%	8 25.00%	11 34.38%	6 18.75%	1 3.13%	32 100.00%	67.5
5 三保谷	1 3.33%	4 13.33%	10 33.33%	11 36.67%	4 13.33%	30 100.00%	51.3
6 出丸	5 10.64%	10 21.28%	11 23.40%	19 40.43%	2 4.26%	47 100.00%	58.7
7 ハツ保	6 18.75%	4 12.50%	8 25.00%	11 34.38%	3 9.38%	32 100.00%	59.3
8 小見野	2 4.26%	13 27.66%	16 34.04%	14 29.79%	2 4.26%	47 100.00%	59.5
その他	2 25.00%	1 12.50%	2 25.00%	3 37.50%	0.00%	8 100.00%	

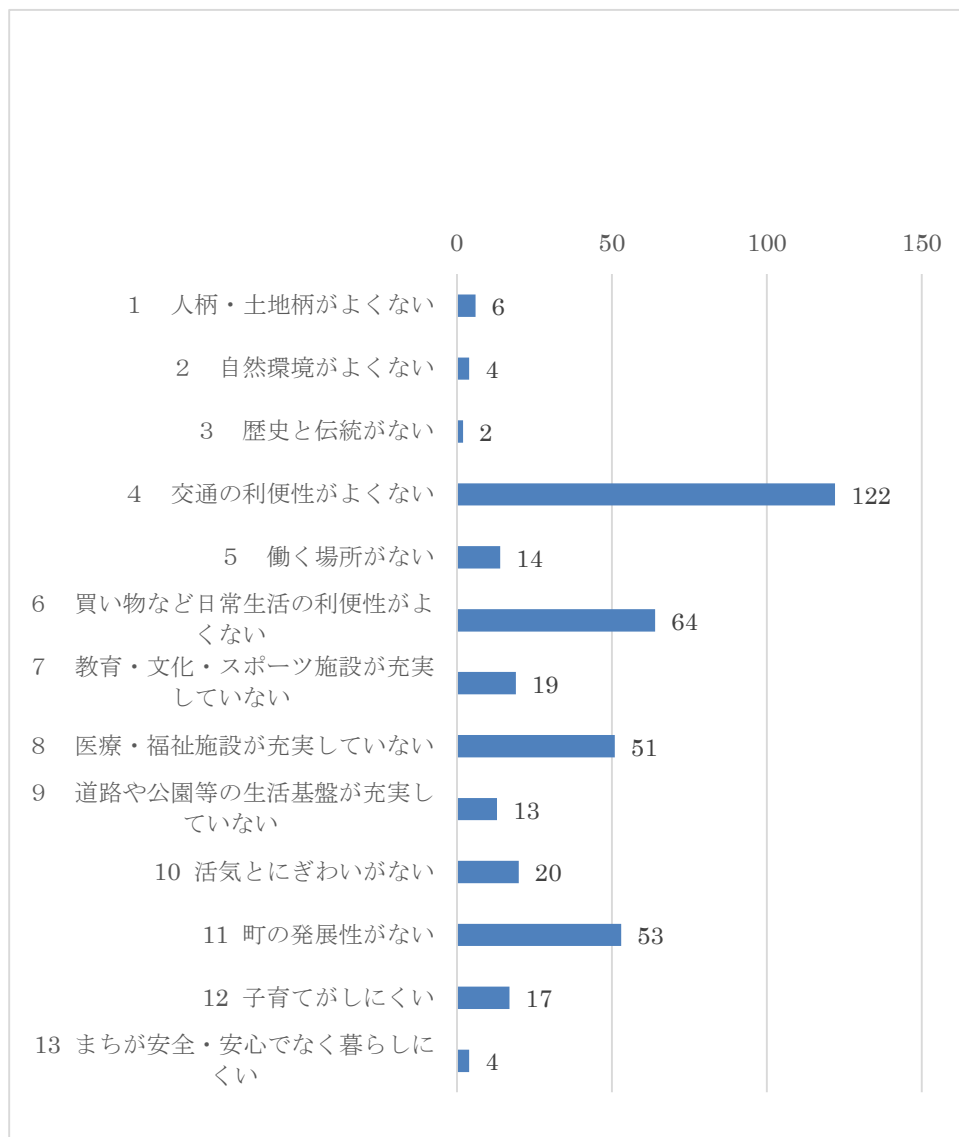
- 「住みよい」「どちらかといえば住みよい」理由としては、「自然環境がよい」と回答した件数が92件と最も多くなっている。次いで、「人柄・土地柄がよい」(63件)、「まちが安全・安心で暮らしやすい」(52件)、「買い物など日常生活の利便性がよい」(45件)と回答した。

[問2-1 問2で1または2にチェックをした方のみお答えください。住みよい主な理由は何ですか。(3つまでチェック)]



- 「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」理由としては、「交通の利便性がよくない」と回答した件数が122件最も多くなっている。次いで、「買い物など日常生活の利便性がよくない」(64件)、「町の発展性がない」(53件)、「医療・福祉施設が充実していない」(51件)と回答した。

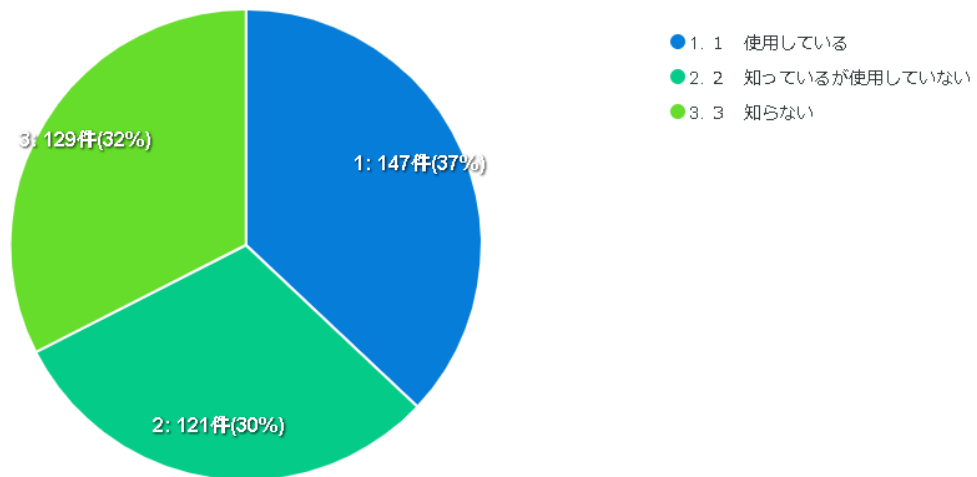
[問2-2 問2で4または5にチェックをつけた方のみお答えください。住みにくい主な理由は何ですか？(3つまでチェック)]



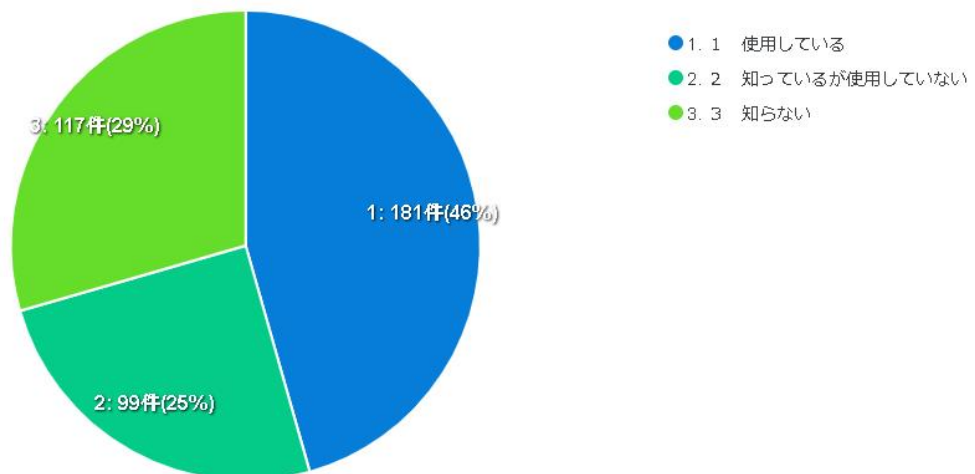
- 「かわべえメール」については、「使用している」の割合が37%、「知っているが使用していない」が30%、「知らない」が32%で、使用していない割合（62%）が大きい。
- 「ライン」については「使用している」の割合が46%、「知らない」が29%、「知っているが使用していない」が25%と約4割が使用している。
- 「ライン」の方が使用している割合が大きい。

問3 町から携帯電話等に防災情報・防犯情報・その他イベント情報等が発信される「かわべえメール」、「LINE（ライン）」があることを知っていますか？（項目ごとに1つにチェック）

① 「かわべえメール」について（1つに○）

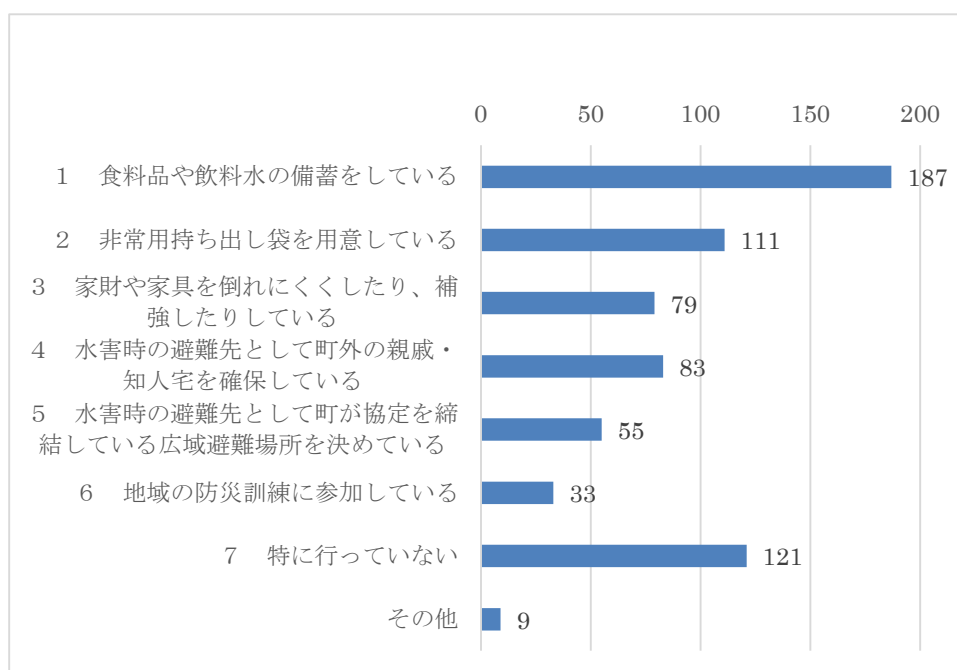


② 「LINE（ライン）」について（1つに○）



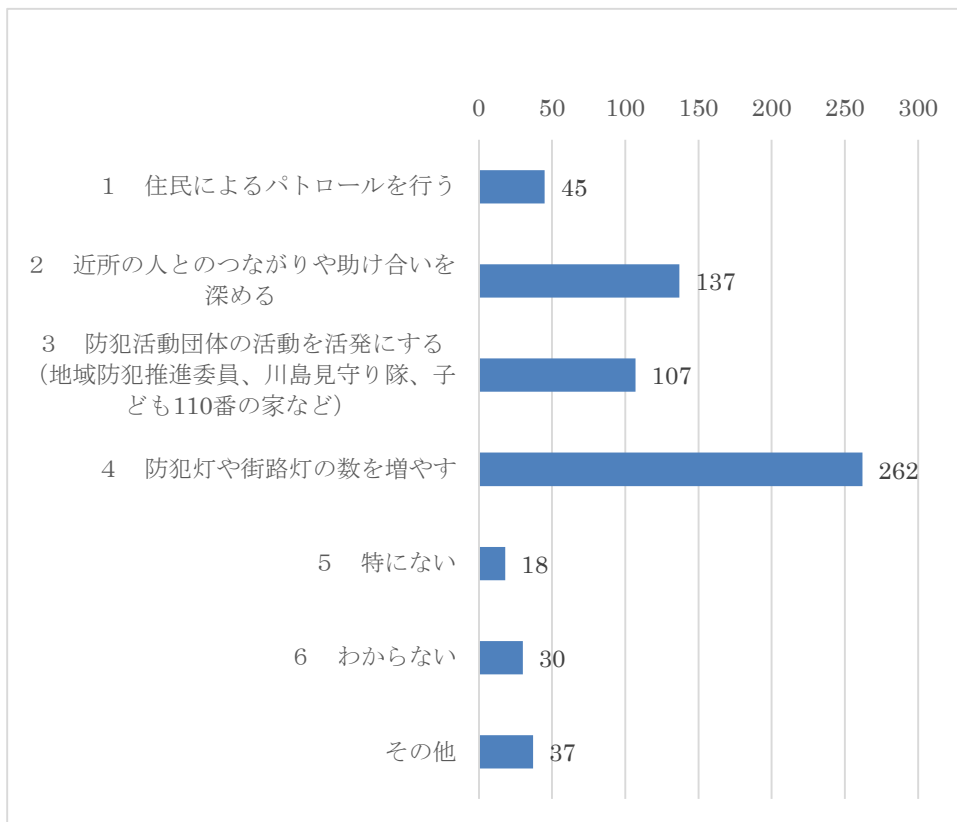
- 災害対策の項目では、普段行っている防災準備として、「食料品や飲料水の備蓄をしている」と回答した件数が187件と最も多い。
- 一方で、「地域の防災訓練に参加している」と回答した件数は、33件と他項目に比べてとても少ない。

問4 あなたは日ごろから災害に備え、どのような準備を行っていますか。(あてはまるもの全てにチェック)



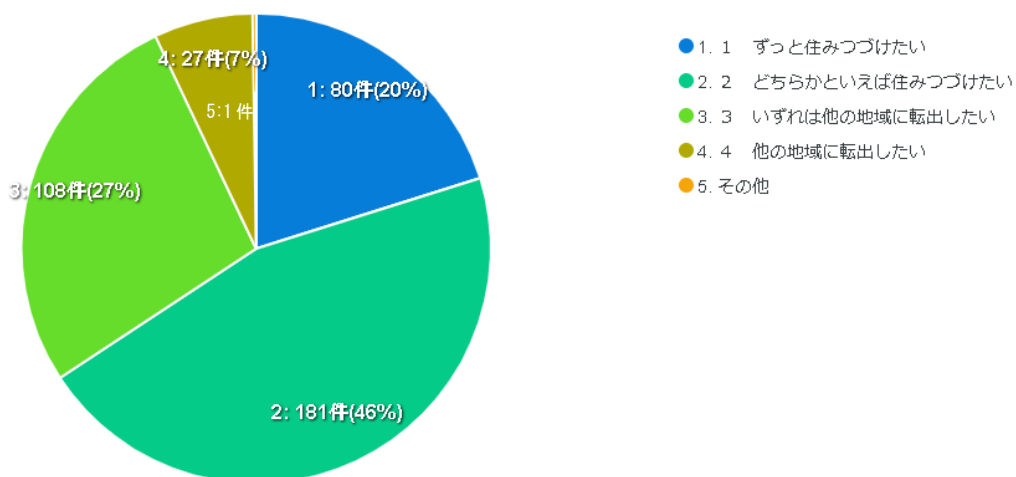
- 犯罪防止の項目では、地域や行政が取り組むべき事項として、「防犯灯や街路灯の数を増やす」と回答した件数が262件と最も多い。
- 続いて、「近所の人とのつながりや助け合いを深める」(137件)、「防犯活動団体の活動を活発にする」(107件)と回答した件数も多い。
- その他の回答としては、防犯カメラの設置、警察官によるパトロール強化などが挙げられている。

問5 あなたは、犯罪を防止するために、地域や行政がどのような取り組みをしたらよいと思いますか。(2つまでチェック)



- 川島町に「ずっと住みつづけたい（住みたい）」「どちらかといえば住みつづけたい（どちらかといえば住みたい）」と回答した割合は、計 65.8%となっており、2022 年に実施したアンケート結果（70.5%）より 4.7 ポイント低下している。

問6 あなたは、川島町にこれからも住みつづけたいと思いますか。（1つにチェック）



2023 年

2022 年

	n	%		n	%
全体	397			550	
1 ずっと住みつづけたい	80	20.2		126	22.9
2 どちらかといえば住みつづけたい	181	45.6		262	47.6
3 いずれは他の地域に転出したい	108	27.2		117	21.3
4 他の地域に転出したい	27	6.8		41	7.5
その他	1	0.3		4	0.7

- 年齢別にみると、年齢が若い層ほど居住継続意識が低く、高齢になるほど高くなっている。特に 20 歳代の割合は 32.6%と平均 (65.7%) の半分以下の数値である。

【年齢別】

	ずっと住みつづけたい	どちらかといえば住みつづけたい	いずれは他の地域に転出したい	他の地域に転出したい	その他	総計	住み続けたいと思う町民の割合 (%)
全体	80 20.15%	181 45.59%	108 27.20%	27 6.80%	1 0.25%	397 100.00%	65.7
1 18・19歳	0.00%	4 40.00%	5 50.00%	1 10.00%	1 0.00%	10 100.00%	40.0
2 20歳代	2 3.85%	15 28.85%	23 44.23%	12 23.08%	0.00%	52 100.00%	32.6
3 30歳代	11 15.71%	32 45.71%	24 34.29%	3 4.29%	0.00%	70 100.00%	61.4
4 40歳代	16 15.09%	48 45.28%	36 33.96%	6 5.66%	0.00%	106 100.00%	60.3
5 50歳以上	51 32.08%	82 51.57%	20 12.58%	5 3.14%	1 0.63%	159 100.00%	83.6

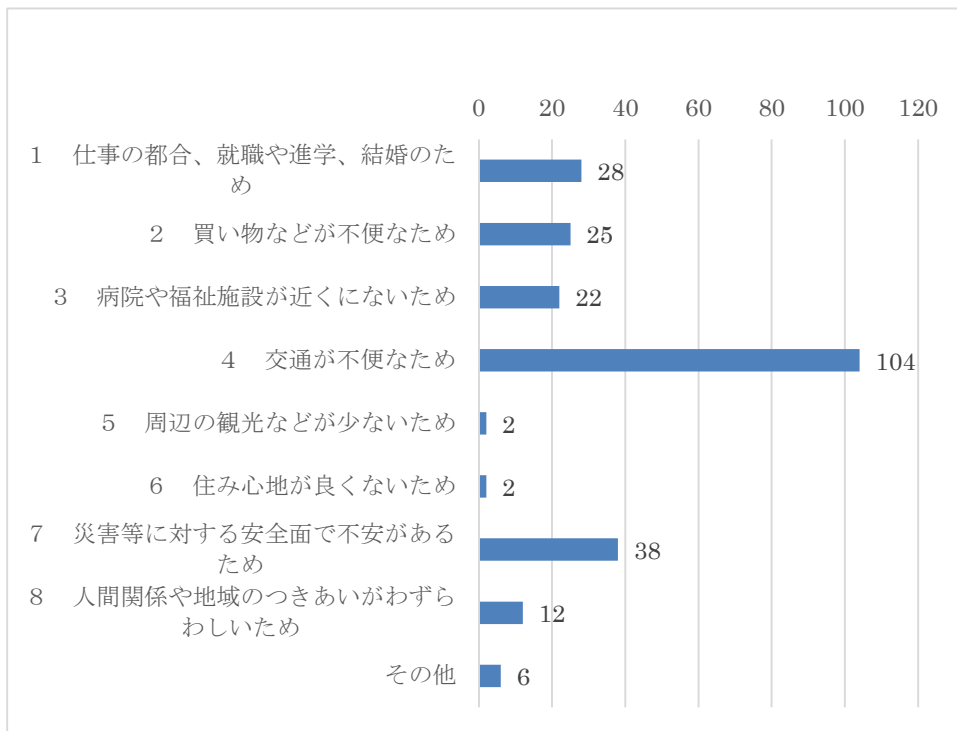
- 居住地区別にみると、中山地区（市街化区域）の居住継続意識が低くなっている。

【居住地区別】

	ずっと住みつづけたい	どちらかといえば住みつづけたい	いずれは他の地域に転出したい	他の地域に転出したい	その他	総計	住み続けたいと思う町民の割合（％）
全体	80 20.15%	181 45.59%	108 27.20%	27 6.80%	1 0.25%	397 100.00%	65.7
1 中山（市街化区域）	11 13.92%	30 37.97%	28 35.44%	9 11.39%	1 1.27%	79 100.00%	51.8
2 中山（市街化調整区域）	10 27.03%	18 48.65%	8 21.62%	1 2.70%	0.00%	37 100.00%	75.6
3 伊草（市街化区域）	14 16.47%	37 43.53%	28 32.94%	6 7.06%	0.00%	85 100.00%	60.0
4 伊草（市街化調整区域）	11 34.38%	14 43.75%	6 18.75%	1 3.13%	0.00%	32 100.00%	78.1
5 三保谷	5 16.67%	18 60.00%	6 20.00%	1 3.33%	0.00%	30 100.00%	76.6
6 出丸	14 29.79%	20 42.55%	11 23.40%	2 4.26%	0.00%	47 100.00%	72.3
7 ハツ保	6 18.75%	14 43.75%	9 28.13%	3 9.38%	0.00%	32 100.00%	62.5
8 小見野	7 14.89%	26 55.32%	11 23.40%	3 6.38%	0.00%	47 100.00%	70.2
その他	2 25.00%	4 50.00%	1 12.50%	1 12.50%	0.00%	8 100.00%	

- 他の地域への転出を検討している理由をみると、「交通が不便なため」と回答した件数が104件と最も多い。
- 一方で、「周辺の観光などが少ないため」は2件、「住み心地が良くないため」は2件と少ない。

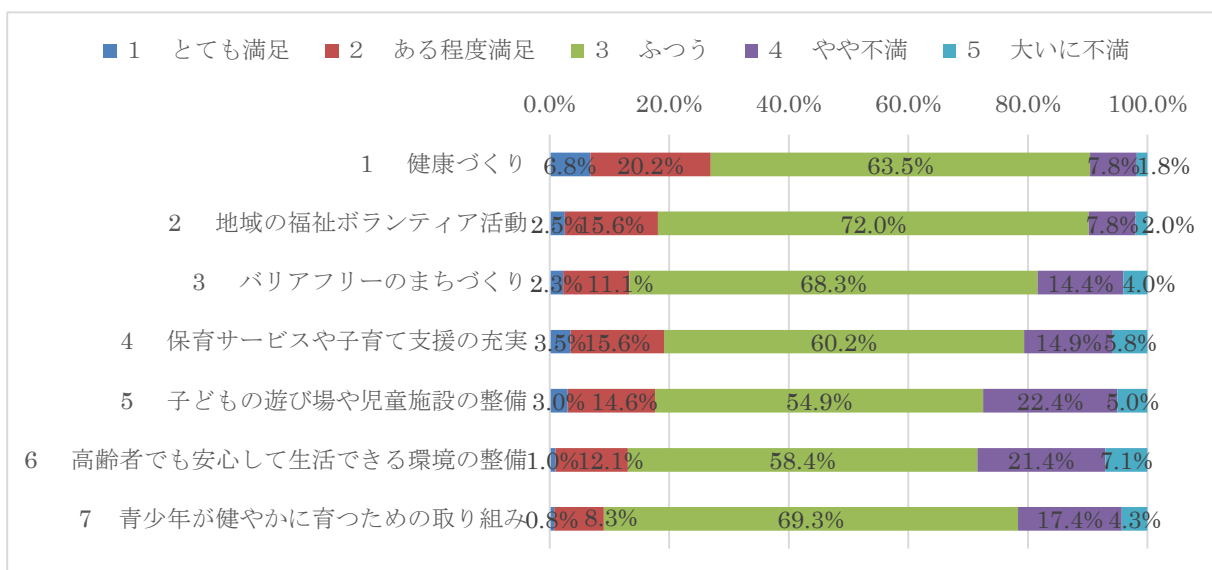
[問6-1 問6で3または4にチェックをつけた方のみお答えください。その主な理由は何ですか。（2つまでチェック）]



【分野別取り組み 保健・医療・福祉】

- 保健・医療・福祉に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「1. 健康づくり」（計 27.0%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「6. 高齢者でも安心して生活できる環境の整備」（計 28.5%）となっている。

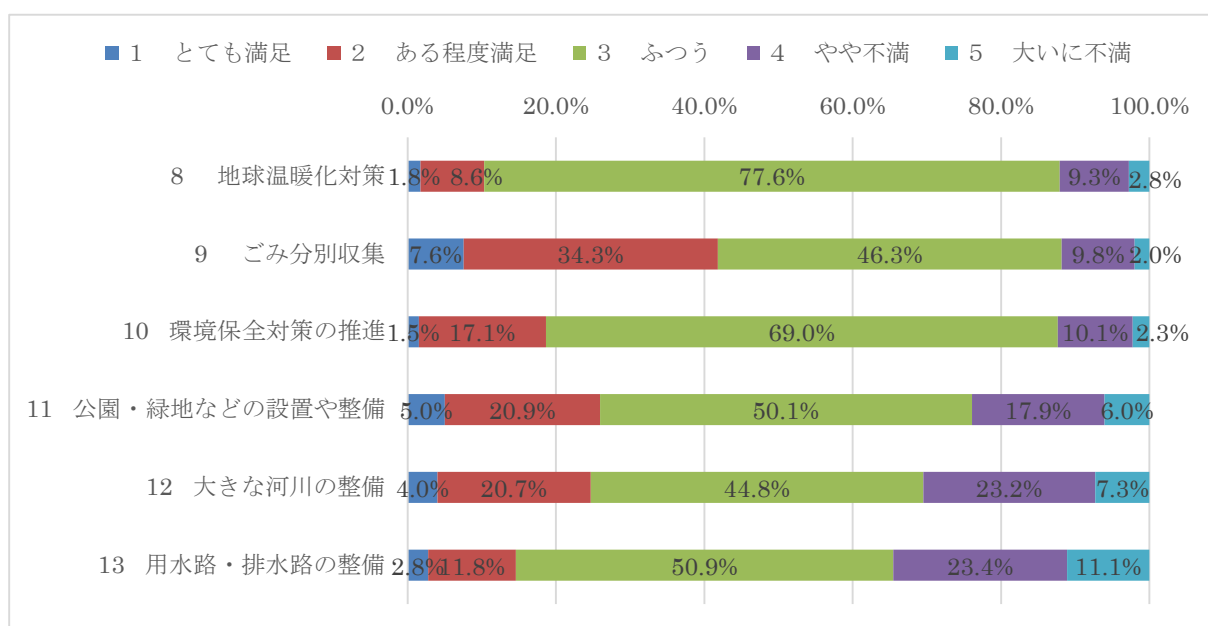
問7 川島町の各分野の取組についてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



【分野別取り組み 自然環境・生活環境】

- 自然環境・生活環境に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「9. ごみ分別収集」（計 41.9%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「13. 用水路・排水路の整備」（計 34.5%）となっている。

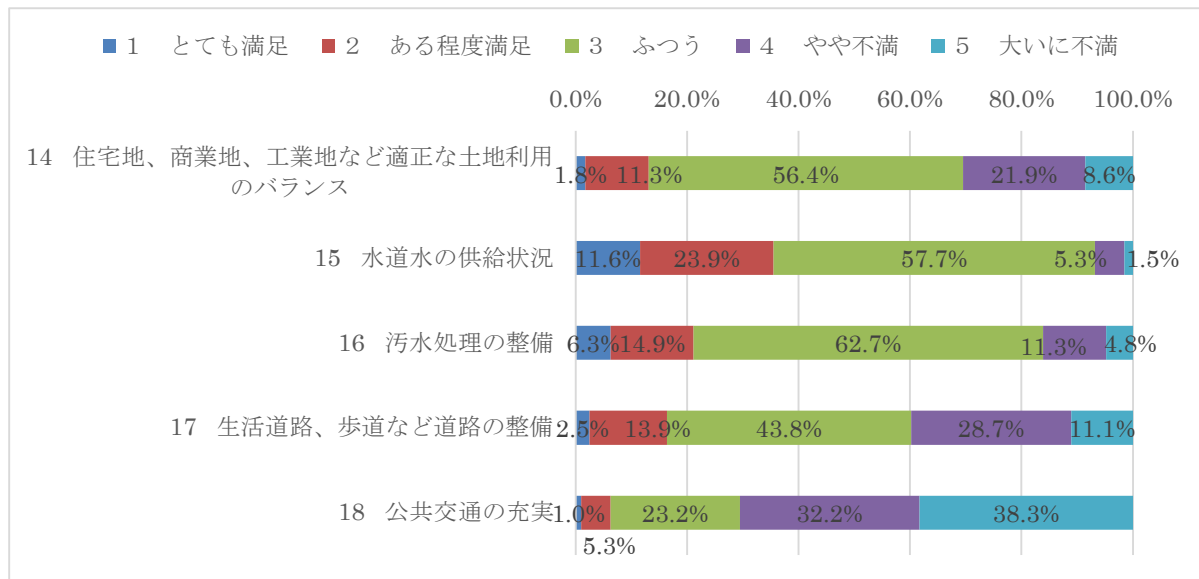
問7 川島町の各分野の取組についてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



【分野別取り組み 都市基盤・土地利用】

- 都市基盤・土地利用に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「15. 水道水の供給状況」（計 35.5%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「18. 公共交通の充実」（計 70.5%）となっており、全 39 項目の中で最も大きい。

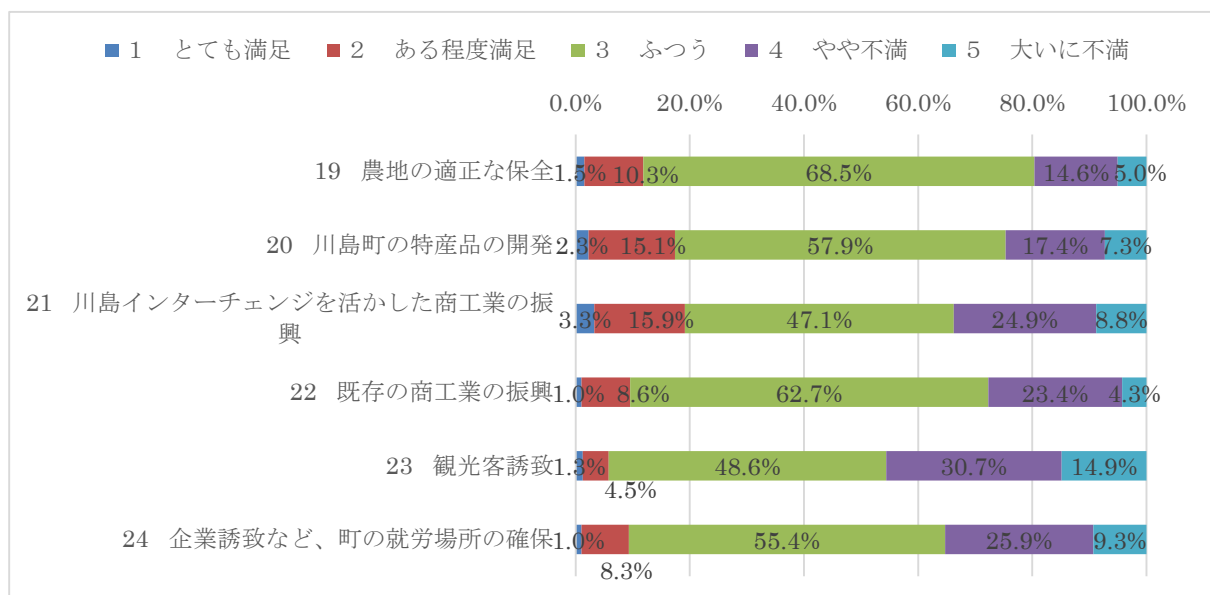
問7 川島町の各分野の取組についてどのように感じていますか。(項目ごとに1つにチェック)



【分野別取り組み 農業・商業・工業・観光】

- 農業・商業・工業・観光に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「21. 川島インターチェンジを活かした商工業の振興」(計 19.2%) となっている。
- しかしながら、同項目を含む全項目において、満足していると回答した割合は、不満と回答した割合を下回っている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「23. 観光客誘致」(計 45.6%) となっている。

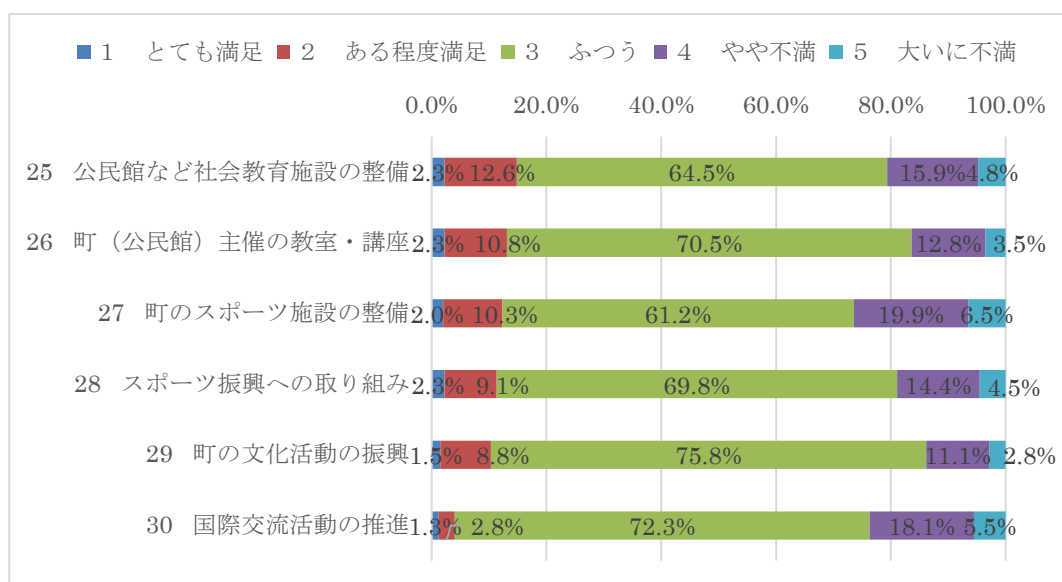
問7 川島町の各分野の取組についてどのように感じていますか。(項目ごとに1つにチェック)



【分野別取り組み 生涯学習・教育】

- 生涯学習・教育に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「25. 公民館など社会教育施設の整備」（計 14.9%）となっている。
- しかしながら、同項目を含む全項目において、満足していると回答した割合は、不満と回答した割合を下回っている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「27. 町のスポーツ施設の整備」（計 26.4%）となっている。

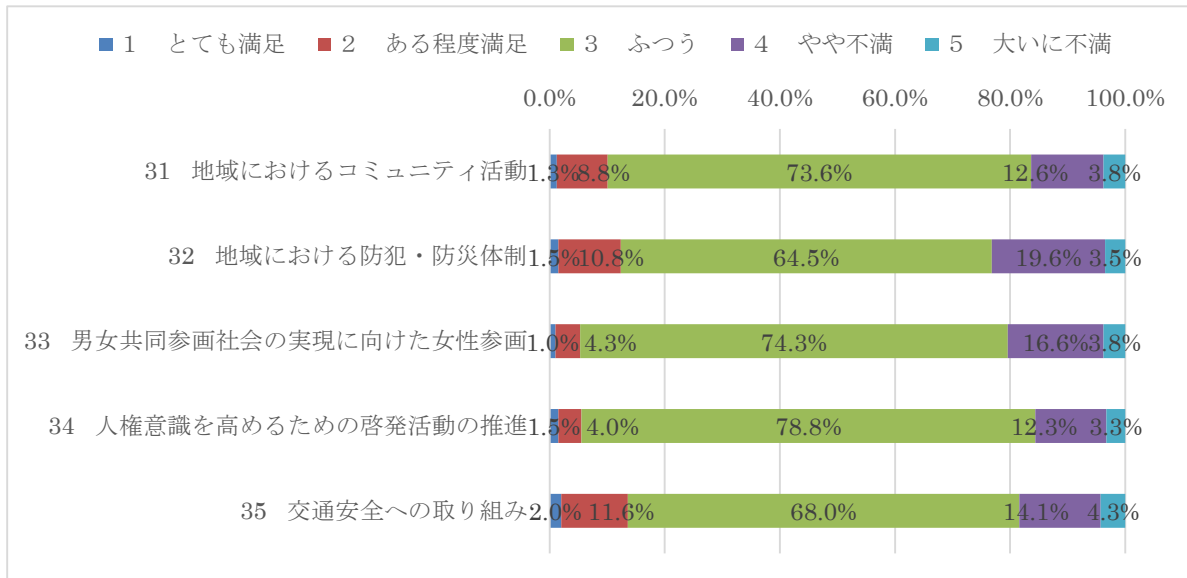
問7 川島町の各分野の取組についてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



【分野別取り組み 自治・コミュニティ】

- 自治・コミュニティに関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「35. 交通安全への取り組み」（計 13.6%）となっている。
- 一方で、「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が大きい項目は、「32. 地域における防犯・防災体制」（計 23.1%）、「33. 男女共同参画社会の実現に向けた女性参画」（計 20.4%）となっている。
- 同項目を含む全項目において、満足していると回答した割合は、不満と回答した割合を下回っている。

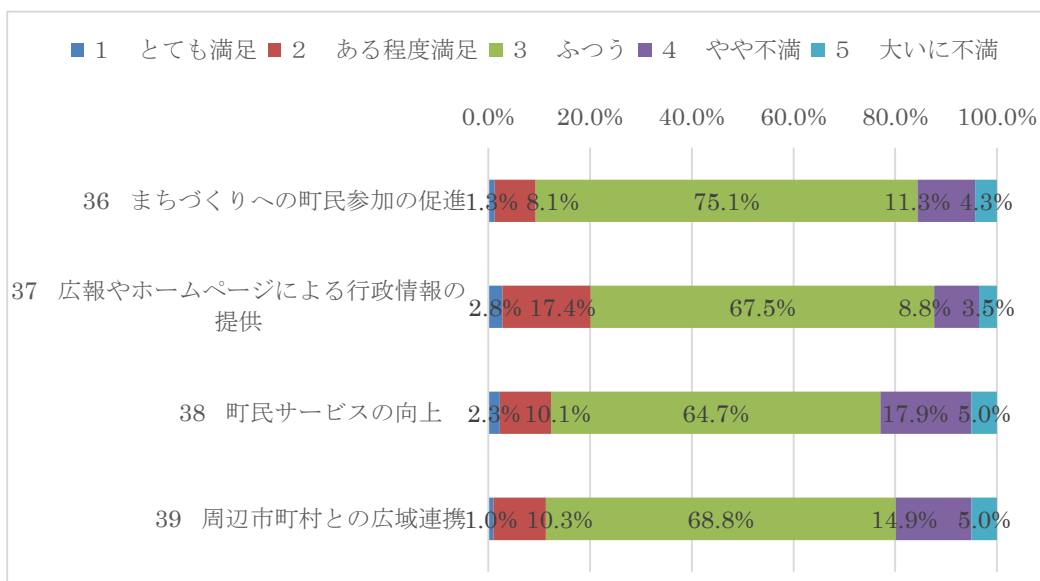
問7 川島町の各分野の取組についてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



【分野別取り組み 行財政運営】

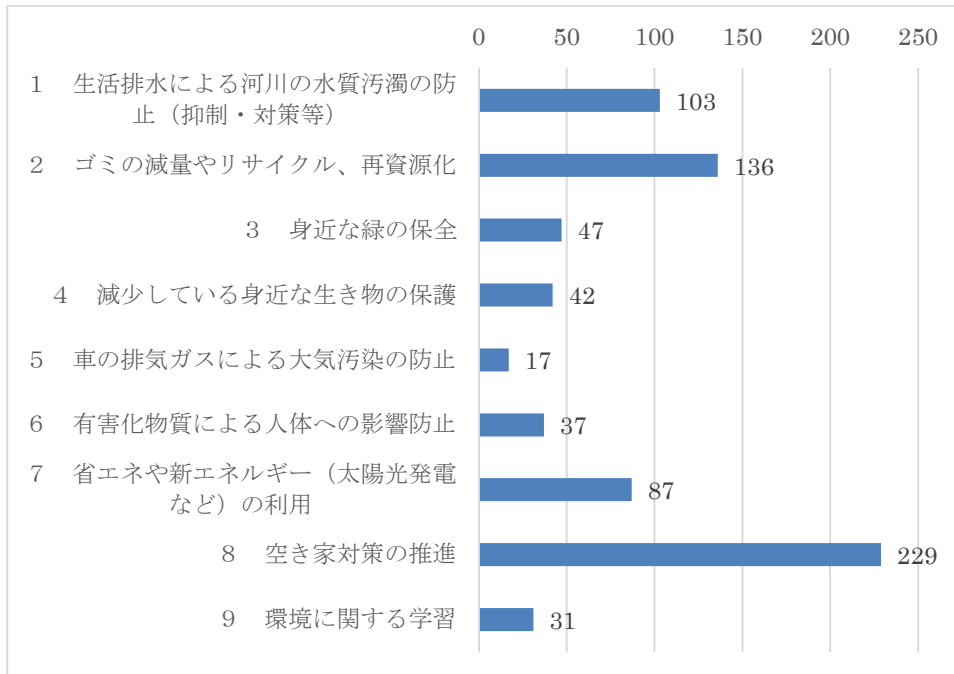
- 行財政運営に関する取り組みに対し、「とても満足」「ある程度満足」と回答した割合が最も大きい項目は、「37. 広報やホームページによる行政情報の提供」（計 20.2%）となっている。
- 「大いに不満」「やや不満」と回答した割合が最も大きい項目は、「38. 町民サービスの向上」（計 22.9%）となっている。

問7 川島町の各分野の取組についてどのように感じていますか。（項目ごとに1つにチェック）



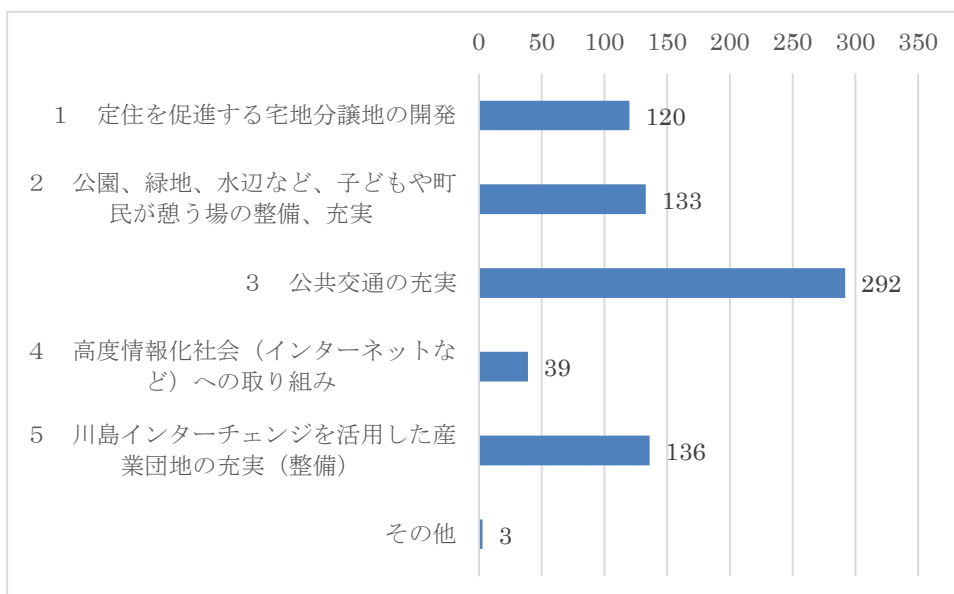
- 自然環境・生活環境において重点的に進めていくべき施策では、「空き家対策の推進」(229件)、「ゴミの減量やリサイクル、再資源化」(136件)と回答した。

問8 自然環境・生活環境の取り組みで、次のうち、重点的に進めていくべき施策は何だと思いますか(2つまでチェック)



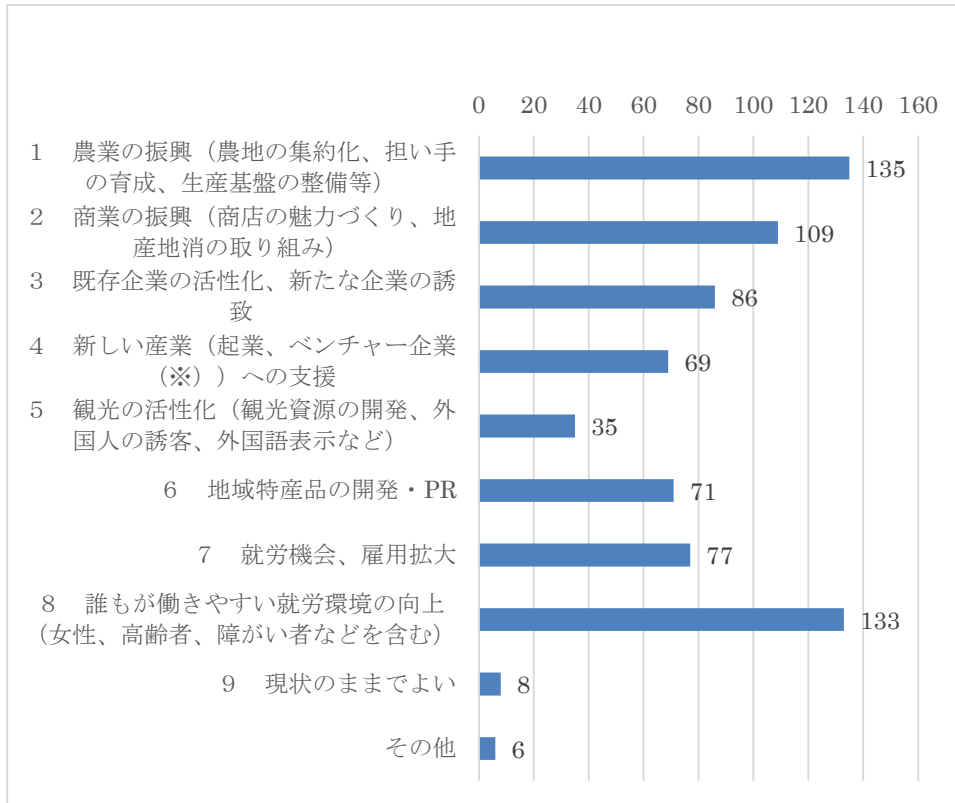
- 都市基盤において重点的に進めていくべき施策では、項目別で最も満足度が低かった「公共交通の充実」と回答した件数が292件と多く、「川島インターチェンジを活用した産業団地の充実(整備)」が136件、「公園、緑地、水辺など、子どもや町民が憩う場の整備、充実」が133件と続いている。

問9 都市基盤の取り組みで、次のうち、重点的に進めていくべき施策は何だと思いますか(2つまでチェック)



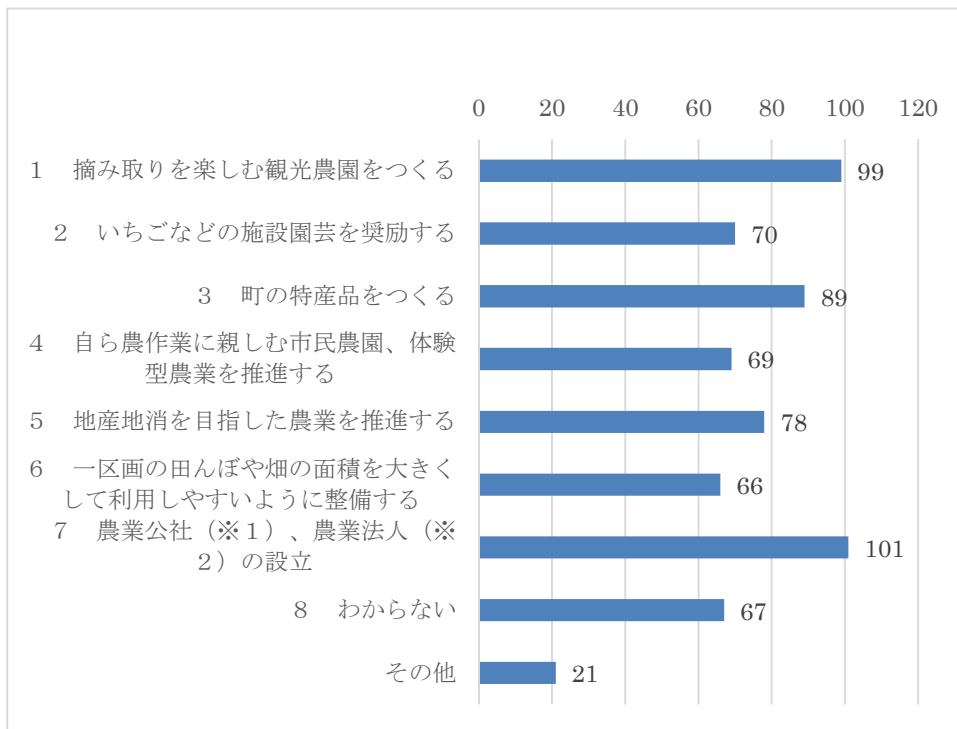
- 産業振興、雇用拡大において重点的に進めていくべき施策では、「農業の振興（農地の集約化、担い手の育成、生産基盤の整備等）」と回答した件数が135件と最も多く、「誰もが働きやすい就労環境の向上（女性、高齢者、障がい者などを含む）」が133件、「商業の振興（商店の魅力づくり、地産地消の取り組み）」が109件と続いている。

問10 産業振興、雇用創出の取り組みで、次のうち、重点的に進めていくべき施策は何だと思いますか（2つまでチェック）



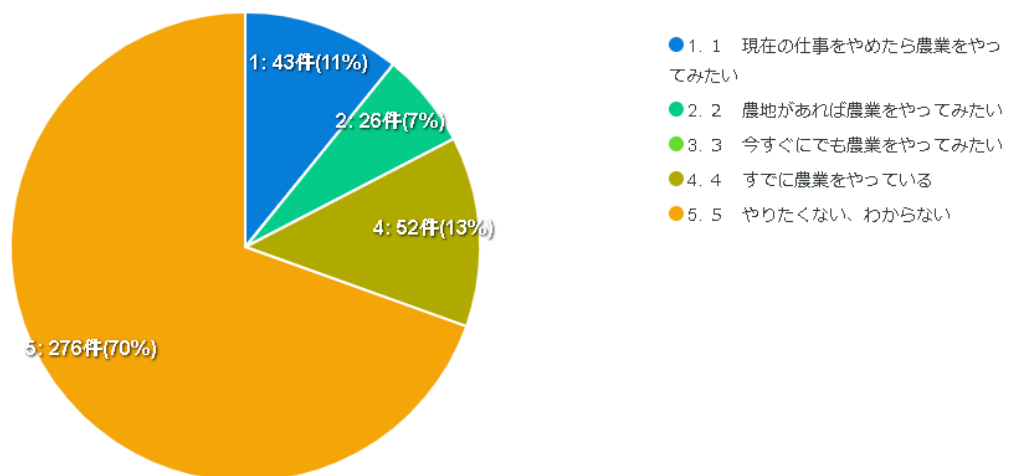
- 農業の振興に向けて進めていくべき施策では、「農業公社、農業法人の設立」と回答した件数が101件と最も多く、次いで、「摘み取りを楽しむ観光農園をつくる」が99件、「町の特産品をつくる」が89件と続いている。

問11 町の農業を振興するために、どのような農業経営を進めるべきだと思いますか（2つまでチェック）



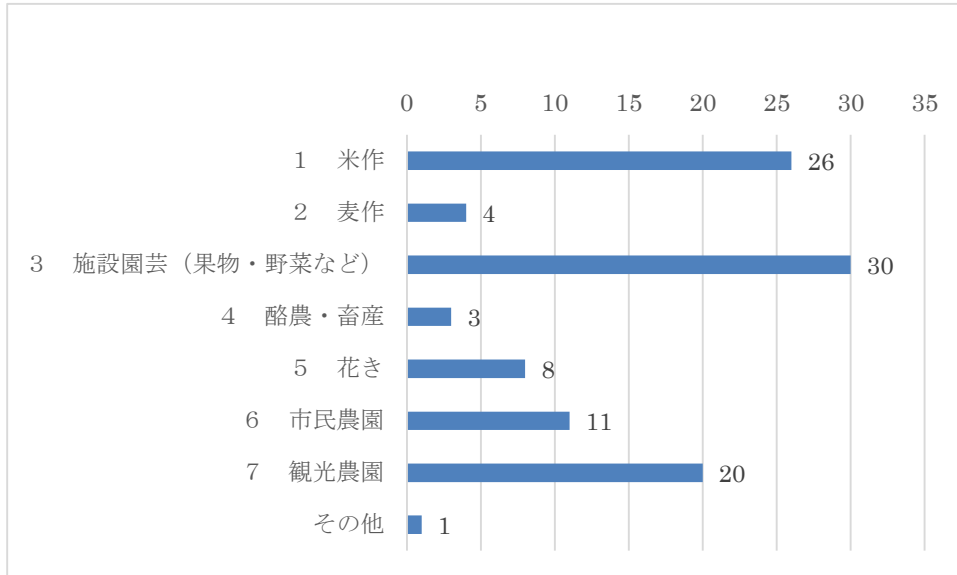
- 農業への就業希望では、「やりたくない、わからない」と回答した割合が70%と最も大きい。
- 一方で、「現在の仕事をやめたら農業をやってみたい」が11%、「農地があれば農業をやってみたい」が7%と就農意向者が約18%存在する。（「すでに農業をやっている」は13%）

問12 あなたは、新たに農業に就いてみたいという考えはありますか。（1つにチェック）



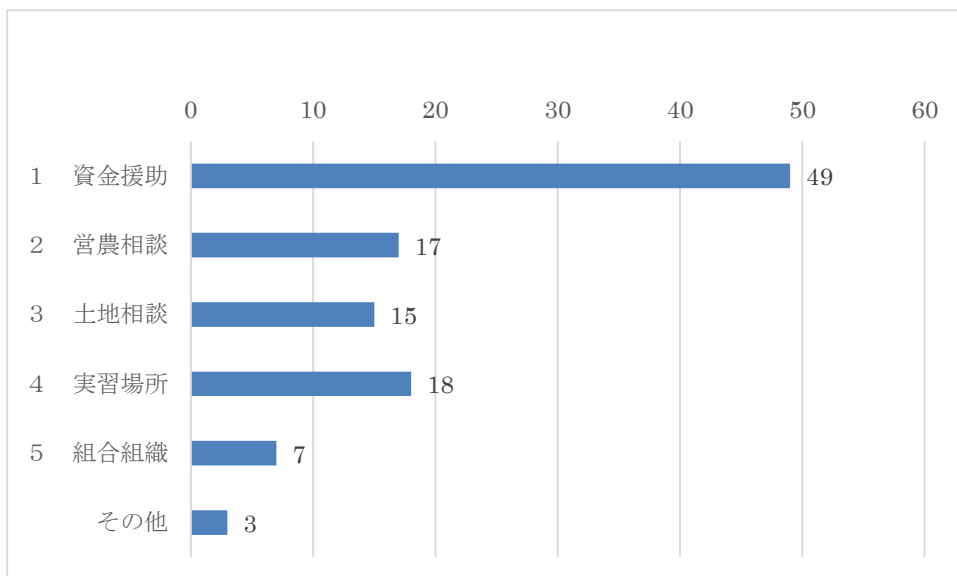
- やってみたい農業では、「施設園芸」と回答した件数が 30 件と最も多く、次いで、「米作」が 26 件と続いている。

[問 1 2 - 1 ①問 1 2 で 1 ~ 3 にチェックをつけた方のみお答えください。やってみたい農業は何ですか。(2 つまでチェック)]



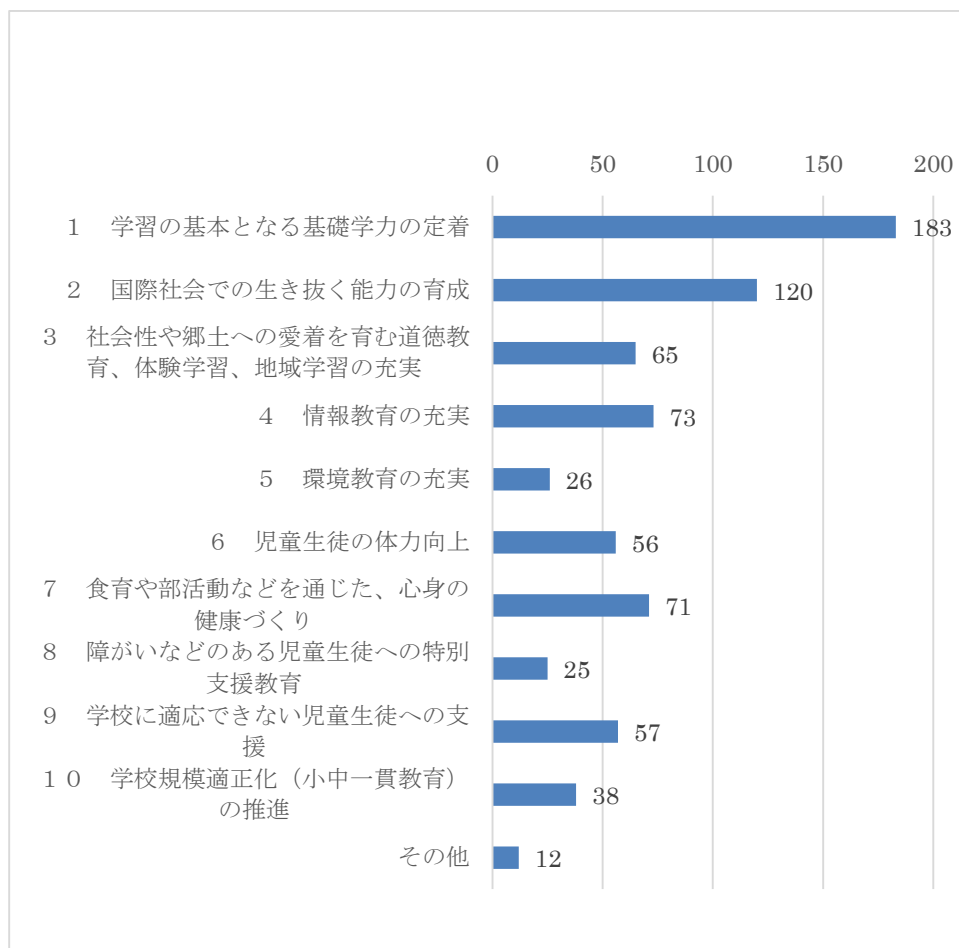
- 農業を開始するにあたって支援を要する事項としては、「資金援助」と回答した件数が 49 件と最も多く、次いで「実習場所」が 18 件、「営農相談」が 17 件、「土地相談」が 15 件と続いている。
- 施設園芸に必要な資金・土地の確保と経営指導が必要であるとの回答が多い。

[問 1 2 - 2 ②問 1 2 で 1 ~ 3 にチェックをつけた方のみお答えください。やってみたい農業に必要なことは何ですか。(2 つまでチェック)]



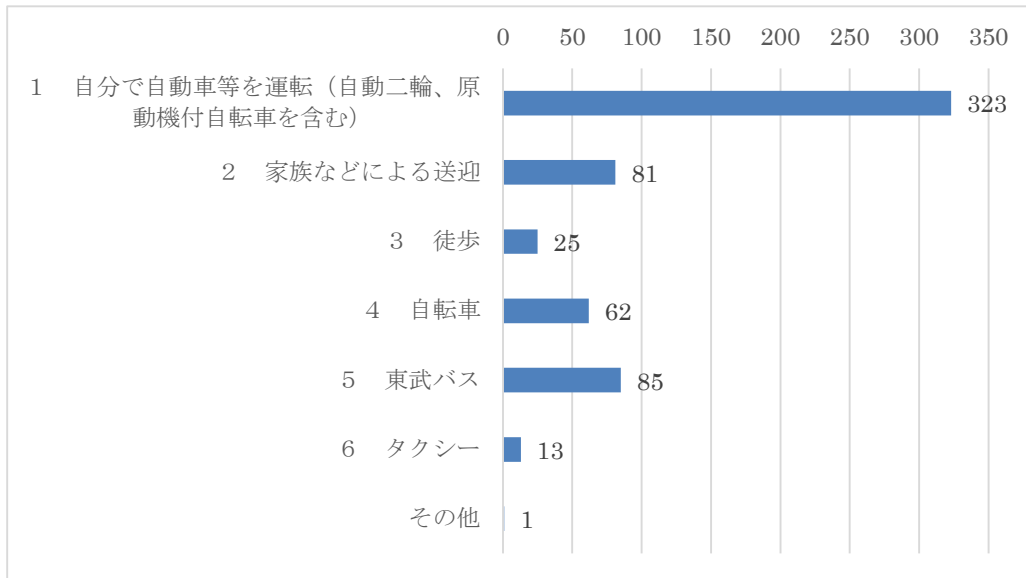
- 学校教育において重点的に進めていくべき施策では、「学習の基本となる基礎学力の定着」と回答した件数が183件と最も多く、「国際社会で生き抜く能力の育成」が120件と続いている。

問13 町の学校教育で、次のうち、重点的に進めていくべきものは何だと思えますか
(2つまでチェック)



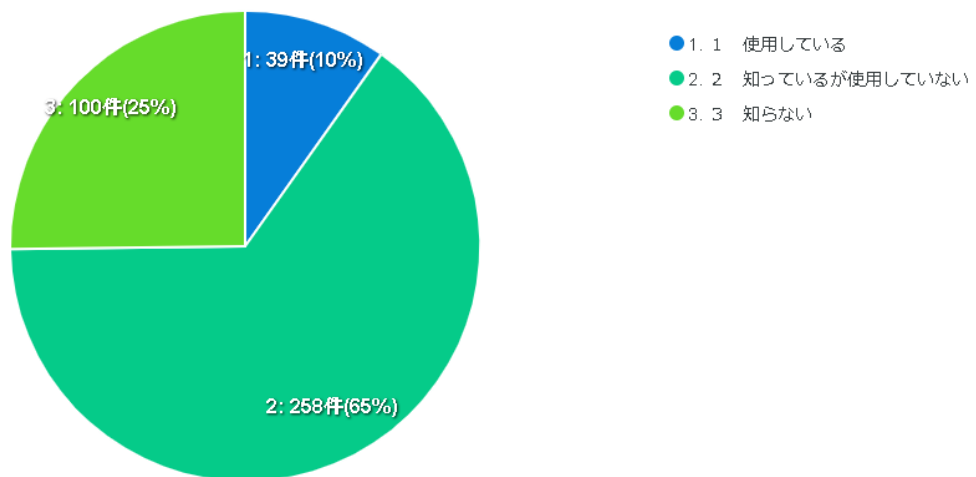
- 日常生活の移動手段では、「自分で自動車等を運転(自動二輪、原動機付自転車を含む)」と回答した件数が323件と圧倒的に多く、次いで、「東武バス」が85件、「家族などによる送迎」が81件と続いている。

問14 あなたは、日常どのような手段で外出(移動)しますか(2つまでチェック)



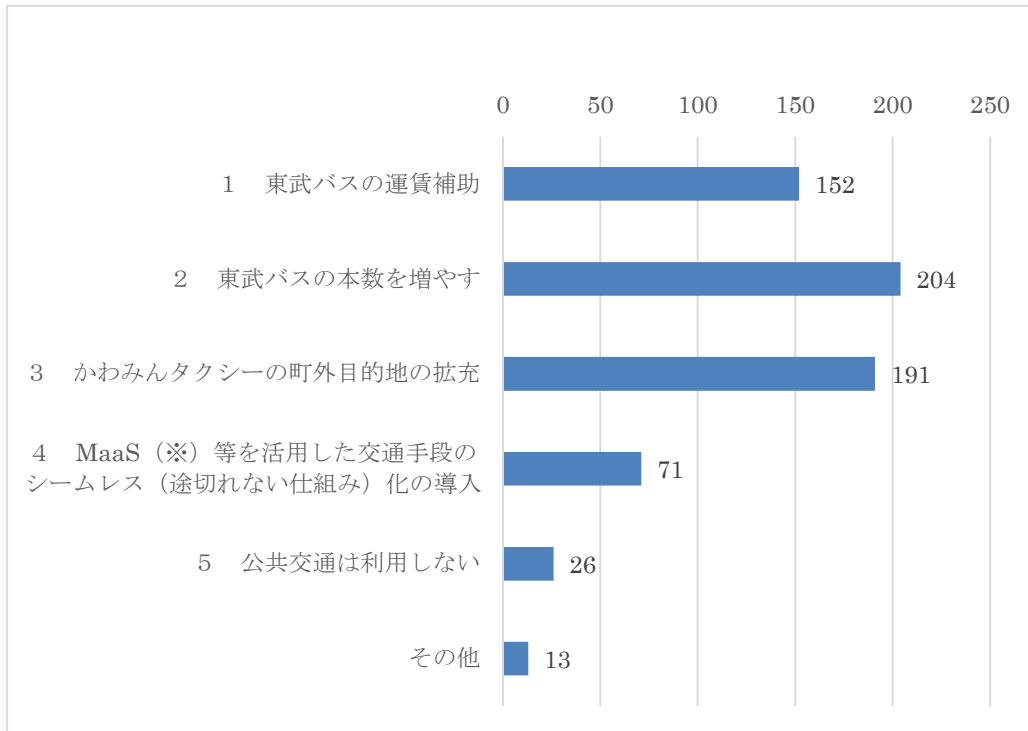
- かわみんタクシーの認知度では、「知っているが使用していない」と回答した割合が65%と大きくなっており、「知らない」が25%、「使用している」が10%と続いている。

問15 町では、事前に登録することにより、自宅などから町内の行きたい場所や指定の病院に行くことができ、交通弱者の日中の移動を支援する交通サービスである、かわみんタクシーを平成29年1月より本格運行しています。あなたは、そのサービスを知っていますか。（1つにチェック）



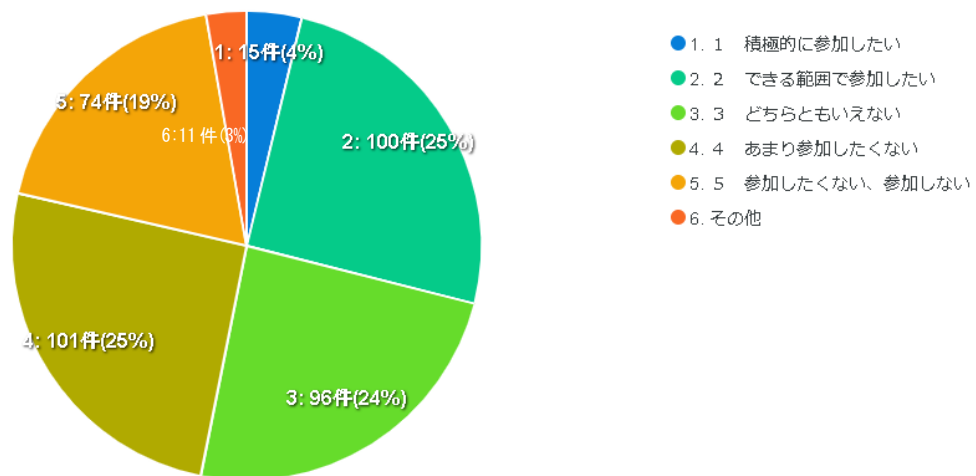
- 公共交通の充実に必要な施策では、「東武バスの本数を増やす」と回答した件数が204件と最も多く、次いで、「かわみんタクシーの町外目的地の拡充」が191件、「東武バスの運賃補助」152件と続いている。
- 「公共交通は利用しない」の回答は26件にとどまっている。

問16 町では、かわみんタクシーの運行をしていますが、今後、町の公共交通等のさらなる充実のために必要なのは、どのような取り組みだと思いますか（2つまでチェック）



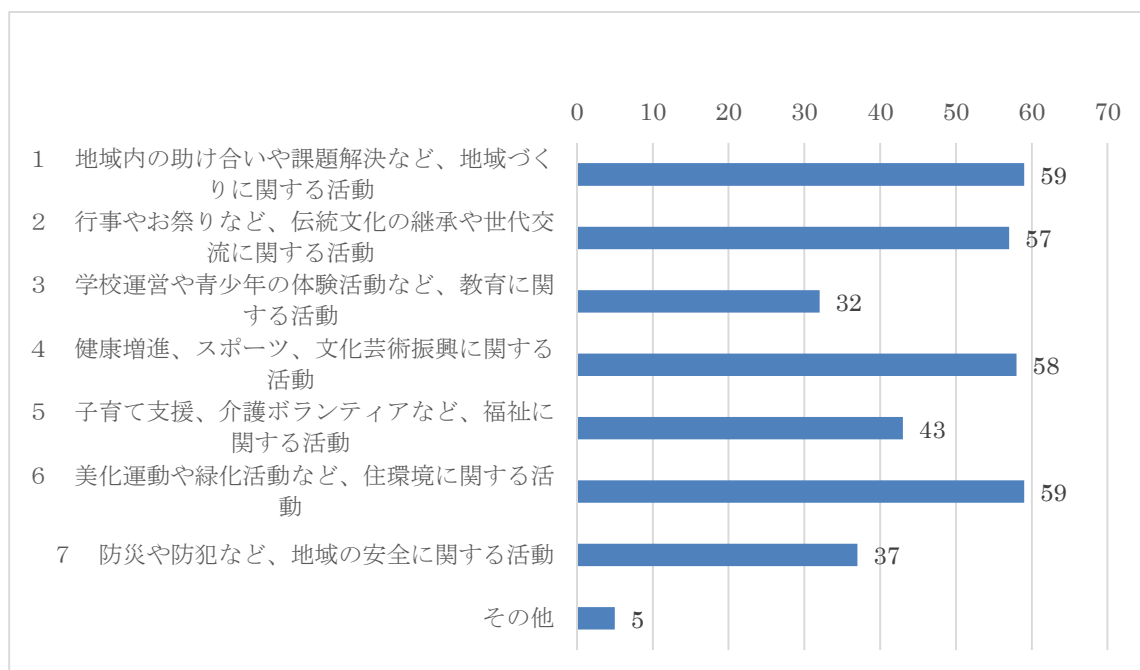
- ボランティア活動への参加意向では、「あまり参加したくない」と回答した件数が101件と最も多く、次いで、「できる範囲で参加したい」が100件、「どちらともいえない」が96件「参加したくない、参加しない」が74件と続いている。
- 「積極的に参加したい」+「できる範囲で参加したい」が計115件、「あまり参加したくない」+「参加したくない、参加しない」が計175件と、参加しない件数が多くなっている。

問17 あなたは地域活動やボランティア活動などに参加したいですか。(1つにチェック)



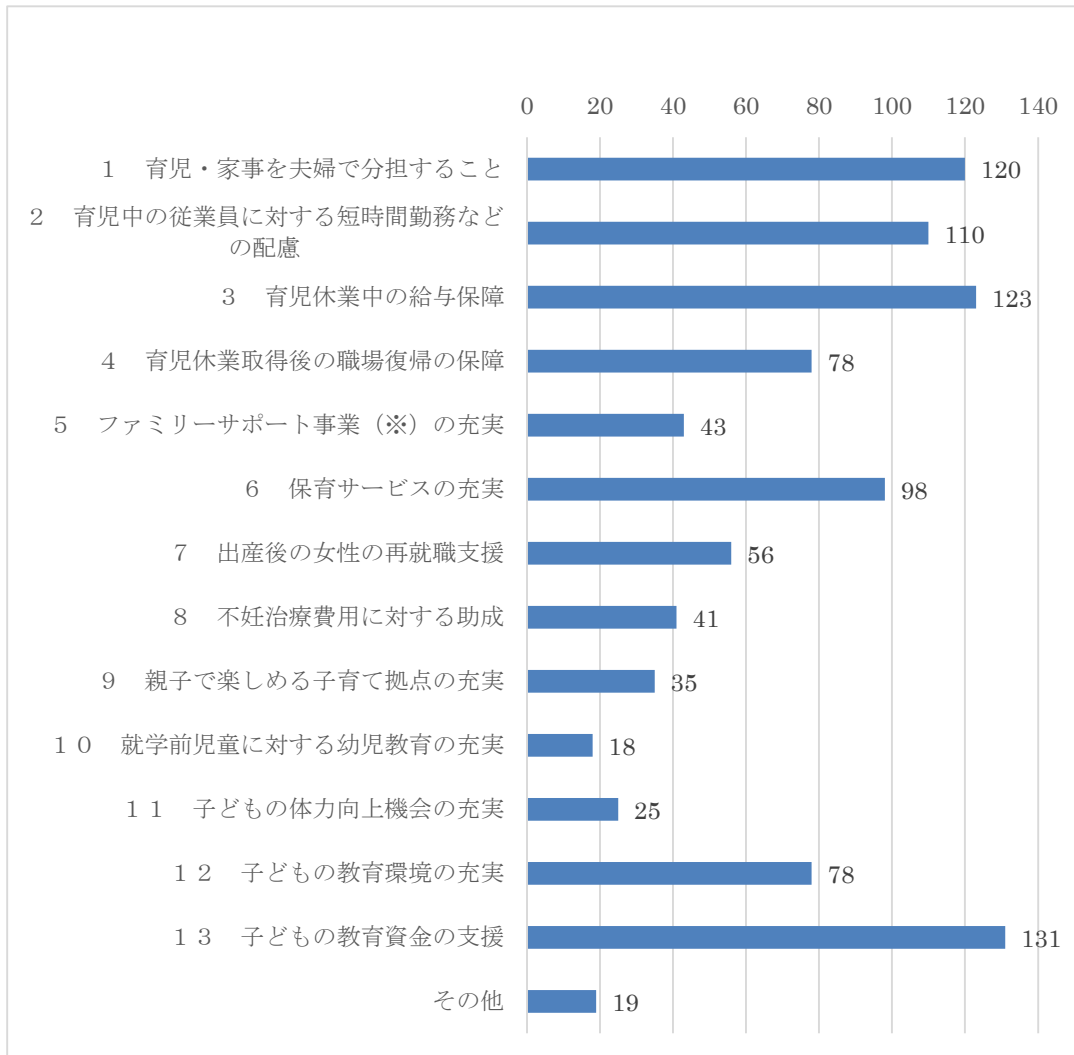
- ボランティアとして活動したい内容は、「地域内の助け合いや課題解決など、地域づくりに関する活動」「美化運動や緑化活動など、住環境に関する活動」と回答した件数が同数で共に 59 件と最も多く、「健康増進、スポーツ、文化芸術振興に関する活動」が 58 件と続いている。

[問17-1 問17で1～3にチェックをつけた方のみお答えください。次のうちどのような活動をしたいですか。(2つまでチェック)]



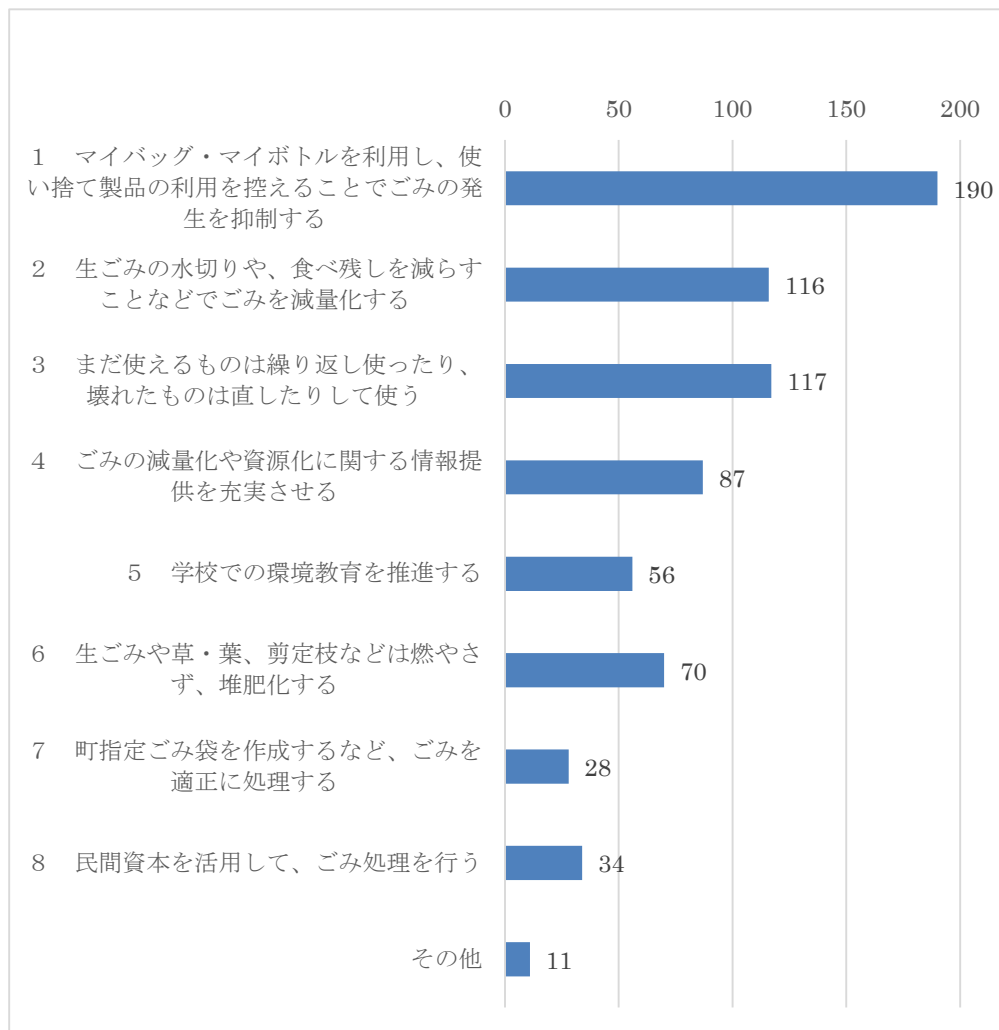
- 子育て支援・子育て環境の向上を進めるうえで効果的な施策では、「子どもの教育資金の支援」と回答した件数が131件と最も多い。次いで、「育児休業中の給与保障」123件、「育児・家事を夫婦で分担すること」が120件と続いている。

問18 子育て支援・子育て環境の向上を進める上で、次のうち、どのような対策が効果的だと思いますか。(3つまでチェック)



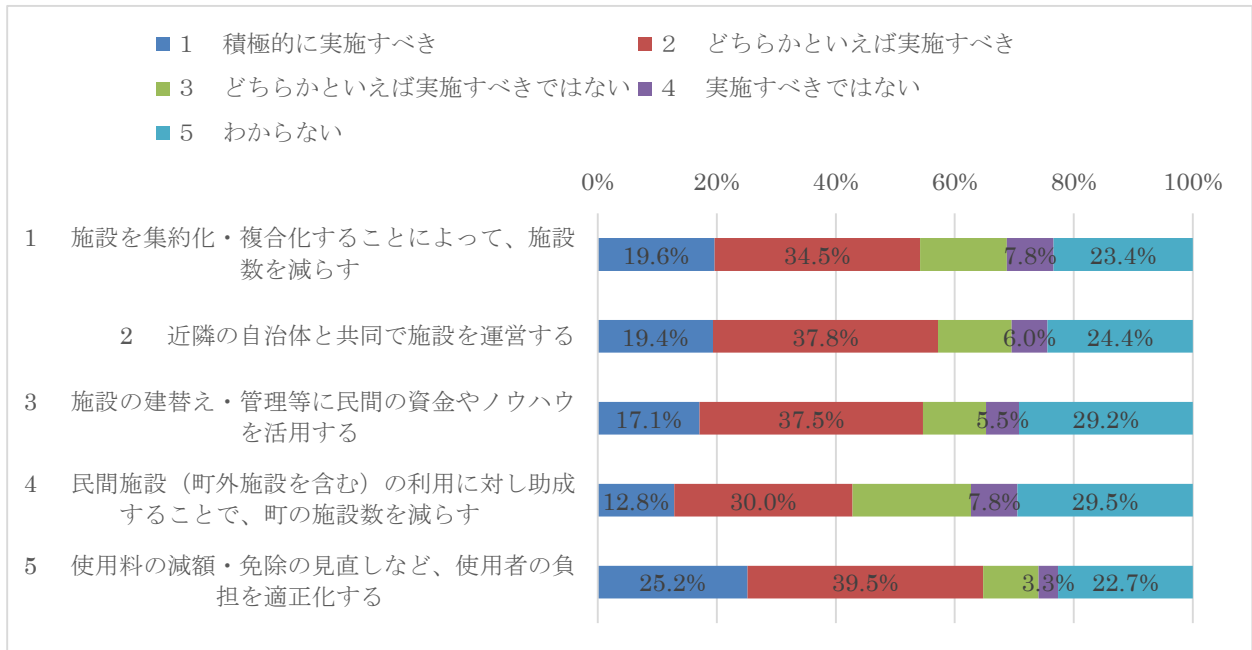
- ごみの減量化や資源化に向けて必要と思われる取り組みでは、「マイバッグ・マイボトルを利用し、使い捨て製品の利用を控えることでごみの発生を抑制する」と回答した件数が、190件と最も多い。
- 一方で、「町指定ゴミ袋を作成するなど、ごみを適正に処理する」は28件と最も少ない。

問19 ごみ処理施設の適正な運用のためには、更なるごみの減量化や資源化が必要です。あなたが必要だと思う取り組みは何ですか。(2つまでチェック)



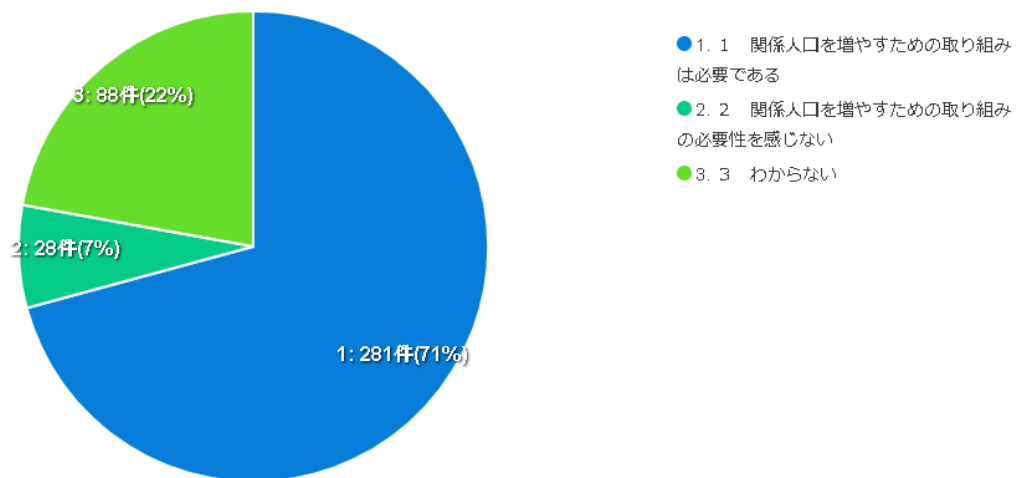
- 公共施設の総延床面積の削減に対する意見では、「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」と回答した割合が50%超となっている項目が多い。(4. 民間施設の利用に対し助成することで町の施設数を減らすは42%程度)

問20 町では、人口減少や財政負担の縮減や平準化等の観点から、公共施設の総延床面積を40年間で30%削減することを目標にしており、公共施設の課題解決に向け、様々な視点で取り組みを検討する必要があります。あなたは、これらの取り組みについてどう思いますか(項目ごとに1つチェック)



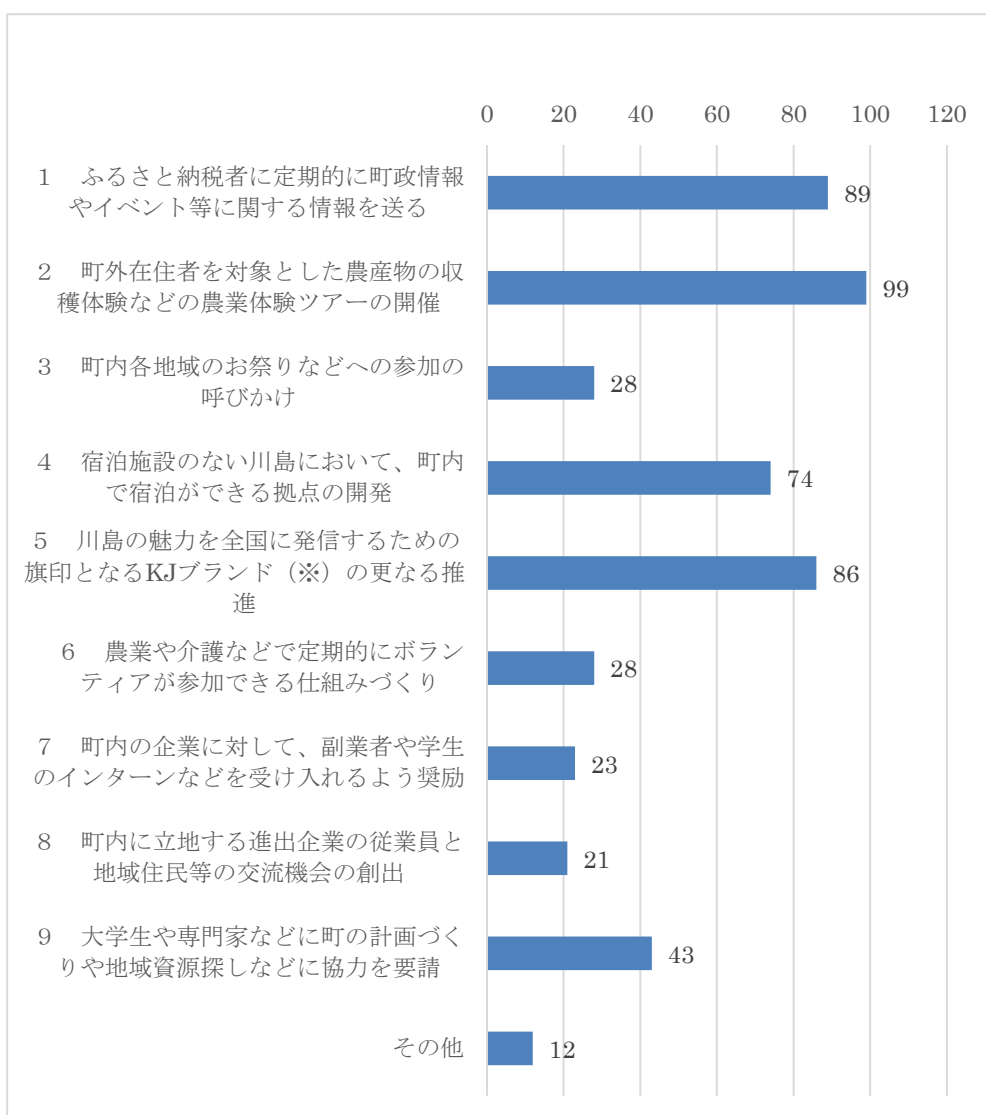
- 関係人口を増やすための取り組みを必要だと考える割合は、71%と7割超の町民が必要だという認識を持っている。
- 「関係人口を増やすための取組の必要性を感じない」は7%にとどまっている。「わからない」の回答も22%と約1/4を占めている。

問2 1 町外に住む人々で、自分のお気に入りの地域に週末に通ったり、頻繁に通わなくても、ふるさと納税をしたり、何らかの形でその地域を応援したい気持ちを持っている方々を「関係人口」と呼びます。関係人口を増やすことが、地域の活性化や人口減少対策のために必要であると考えられています。あなたは、川島町の関係人口を増やすための取り組みが必要だと思いますか（1つチェック）



- 関係人口を増やすための取り組みとして力を入れるべき事項では、「町外在住者を対象とした農産物の収穫体験などの農業体験ツアーの開催」と回答した件数が 99 件と最も多く、次いで「ふるさと納税者に定期的に町政情報やイベント等に関する情報を送る」が 89 件、「川島の魅力を全国に発信するための旗印となる K J ブランドの更なる推進」が 86 件、「宿泊施設のない川島において、町内で宿泊ができる拠点の開発」が 74 件と続いている。

[問 2 1 - 1 問 2 1 で 1 にチェックした方のみお答えください。関係人口を増やすためにどのようなことに力を入れると良いと思いますか。(2 つまでチェック)]



Ⅲ. まとめ

アンケートの設問7では、川島町の各分野の取り組みに対する満足度を点数化している。問7の小設問を総合計画で掲げている4つの柱「まもる」「つなぐ」「つくる」「そだてる」別にグルーピングし、それぞれ点数付けした結果を以下のとおり点数表にした。

【問7 小設問別点数表】

テーマ	小設問	全体	1 とても満足	2 ある程度満足	3 ふつう	4 やや不満	5 大いに不満	点数
まもる	1 健康づくり	397	27	80	252	31	7	3.22
まもる	2 地域の福祉ボランティア活動	397	10	62	286	31	8	3.09
まもる	3 バリアフリーのまちづくり	397	9	44	271	57	16	2.93
そだてる	4 保育サービスや子育て支援の充実	397	14	62	239	59	23	2.96
そだてる	5 子どもの遊び場や児童施設の整備	397	12	58	218	89	20	2.88
まもる	6 高齢者でも安心して生活できる環境の整備	397	4	48	232	85	28	2.79
つなぐ	7 青少年が健やかに育つための取り組み	397	3	33	275	69	17	2.84
まもる	8 地球温暖化対策	397	7	34	308	37	11	2.97
まもる	9 ごみ分別収集	397	30	136	184	39	8	3.36
まもる	10 環境保全対策の推進	397	6	68	274	40	9	3.06
まもる	11 公園・緑地などの設置や整備	397	20	83	199	71	24	3.01
まもる	12 大きな河川の整備	397	16	82	178	92	29	2.91
まもる	13 用水路・排水路の整備	397	11	47	202	93	44	2.72
まもる	14 住宅地、商業地、工業地など適正な土地利用のバランス	397	7	45	224	87	34	2.76
まもる	15 水道水の供給状況	397	46	95	229	21	6	3.39
まもる	16 汚水処理の整備	397	25	59	249	45	19	3.07
まもる	17 生活道路、歩道など道路の整備	397	10	55	174	114	44	2.68
まもる	18 公共交通の充実	397	4	21	92	128	152	1.98
まもる	19 農地の適正な保全	397	6	41	272	58	20	2.89
つくる	20 川島町の特産品の開発	397	9	60	230	69	29	2.88
つくる	21 川島インターチェンジを活かした商工業の振興	397	13	63	187	99	35	2.80
つくる	22 既存の商工業の振興	397	4	34	249	93	17	2.79
つくる	23 観光客誘致	397	5	18	193	122	59	2.47
つくる	24 企業誘致など、町の就労場所の確保	397	4	33	220	103	37	2.66
そだてる	25 公民館など社会教育施設の整備	397	9	50	256	63	19	2.92
そだてる	26 町（公民館）主催の教室・講座	397	9	43	280	51	14	2.95
そだてる	27 町のスポーツ施設の整備	397	8	41	243	79	26	2.81
そだてる	28 スポーツ振興への取り組み	397	9	36	277	57	18	2.90
つなぐ	29 町の文化活動の振興	397	6	35	301	44	11	2.95
つなぐ	30 国際交流活動の推進	397	5	11	287	72	22	2.76
つなぐ	31 地域におけるコミュニティ活動	397	5	35	292	50	15	2.91
まもる	32 地域における防犯・防災体制	397	6	43	256	78	14	2.87
まもる	33 男女共同参画社会の実現に向けた女性参画	397	4	17	295	66	15	2.82
まもる	34 人権意識を高めるための啓発活動の推進	397	6	16	313	49	13	2.88
まもる	35 交通安全への取り組み	397	8	46	270	56	17	2.93
つなぐ	36 まちづくりへの町民参加の促進	397	5	32	298	45	17	2.91
つなぐ	37 広報やホームページによる行政情報の提供	397	11	69	268	35	14	3.07
まもる	38 町民サービスの向上	397	9	40	257	71	20	2.87
つなぐ	39 周辺市町村との広域連携	397	4	41	273	59	20	2.87

※「とても満足」を5点、「ある程度満足」を4点、「ふつう」を3点、「やや不満」を2点、「大いに不満」を1点として換算し、各回答数と乗算した値を全回答数の397で割った値

※最高点を黄色塗り、最低点を緑色塗りで表示している。

【問7 満足度テーマ別平均点】

2023年			2022年	
まもる	2.91		まもる	2.82
つなぐ	2.90		つなぐ	2.80
つくる	2.72		つくる	2.66
そだてる	2.91		そだてる	2.83
全体	2.88		全体	2.80

1. 「まもる」：平均2.91点

(1) 重要施策1：災害に備える環境整備

「大きな河川の整備」が2.91点とテーマ平均点（2.91点）と同じ。「用水路・排水路の整備」は2.72点と、テーマ平均点（2.91%）を下回る。

(2) 重要施策2：持続可能な循環型社会の実現

「ごみ分別収集」は、3.36点と全項目で二番目に高くなっている。

(3) 重要施策以外の項目

「水道水の供給状況」は、3.39点と全項目の中で一番高い。一方で、「公共交通の充実」が最下位の1.98点となっている。

2. 「つなぐ」：平均2.90点

(1) 重要施策1：つどいの場の創出

「地域におけるコミュニティ活動」は、2.91点とテーマ平均点（2.90点）を上回っている。

(2) 重要施策2：新しい自治体コミュニケーションの推進

「広報やホームページによる行政情報の提供」は、3.07点と平均点を上回っている。

(3) 重要施策以外の項目

「国際交流活動の推進」は、2.76点、「周辺市町村との広域連携」は、2.87点と平均点を下回っている。

3. 「つくる」：平均2.72点

(1) 重要施策1：川島インターチェンジ周辺整備の推進

「川島インターチェンジを活用した商工業の振興」は、2.80点とテーマ平均点（2.72点）を上回っている。

(2) 重要施策2：地域資源の総動員による稼ぐ力の向上

「川島町の特産品の開発」は、2.88点で平均点を上回っており、「観光客誘致」は、2.47点で平均点を下回っている。

(3) 重要施策以外の項目

「つくる」は、他と比して満足度が低い。「観光客誘致」が2.47点と低くなっており、平均点を押し下げている。

4. 「そだてる」：平均2.91点

(1) 重要施策1：夢を育む新たな学校づくり

小中一貫教育校計画の推進に関する項目の設定を検討する。

(2) 重要施策2：社会を生き抜く人材の育成

「町（公民館）主催の教室・講座」は、2.95点とテーマ平均点（2.91点）を上回っている。

(3) 重要施策以外の項目

「そだてる」の満足度は、「まもる」と並んで高いが、「町のスポーツ施設の整備」が、2.81点と低くなっている。